

7. コミュニティ



●育つべき社会

建築は人々のコミュニティを守り育てるためにある。人々は建築に参加するべきであり、コミュニティを守り育てる権利と義務を有する。

キーワード

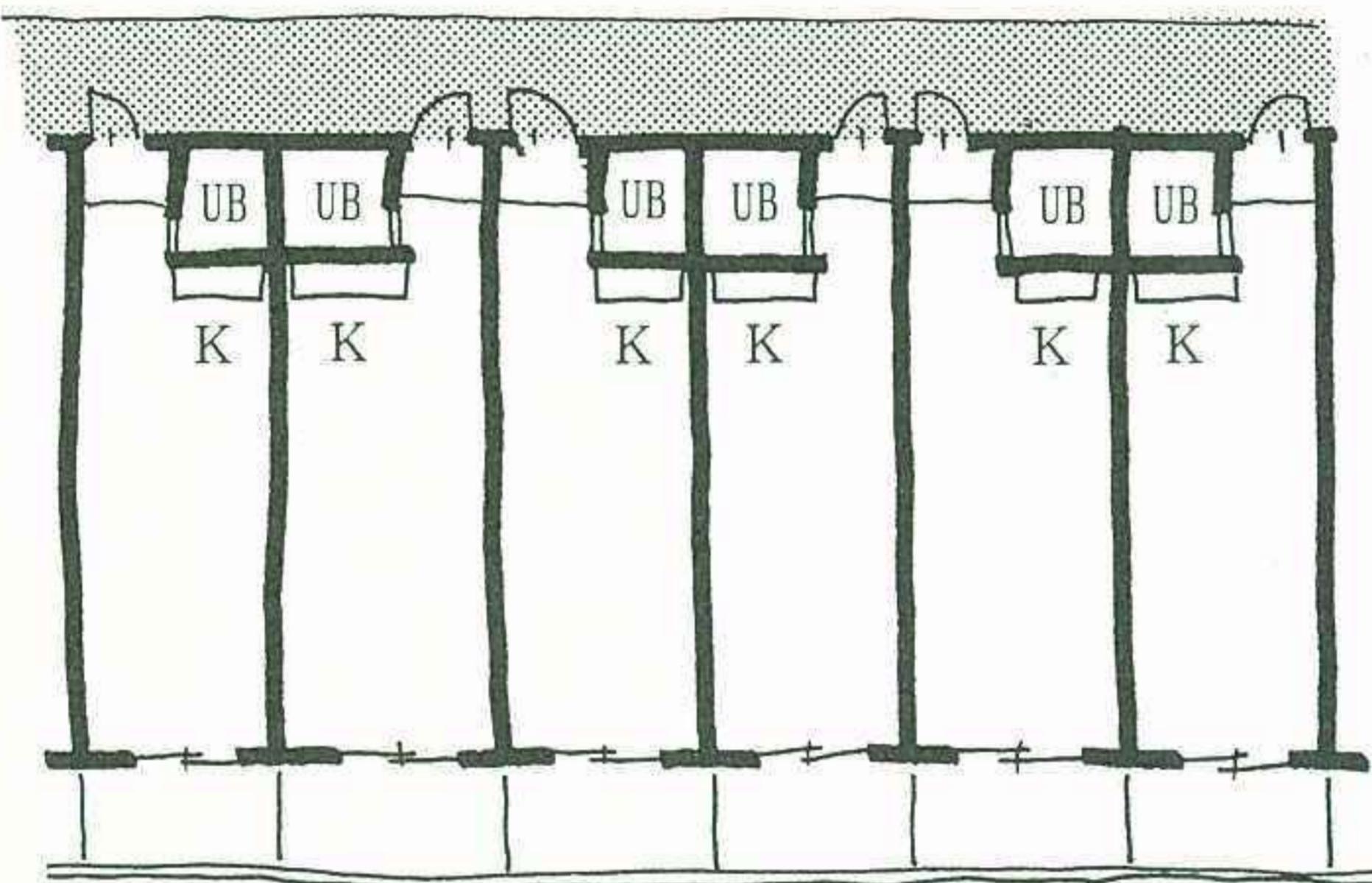
前提条件

○世帯の混合

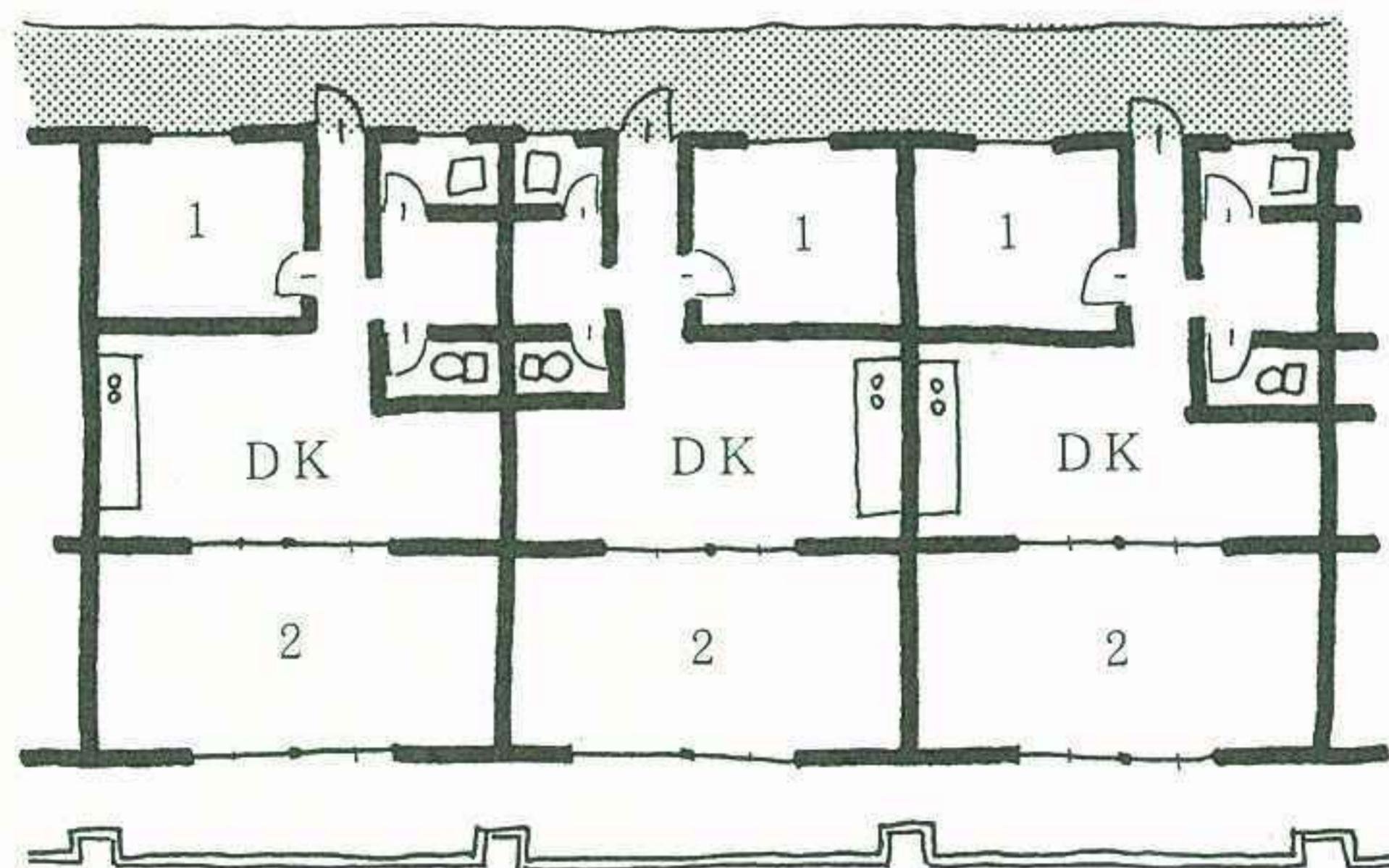
社会は単一の年齢層だけでは成り立たない。
均一な間取りが連續する建物はある一定の層の人々の生活空間になりやすい。

●画一的で単一の年齢層で構成される建物

- ・ワンルームの連續

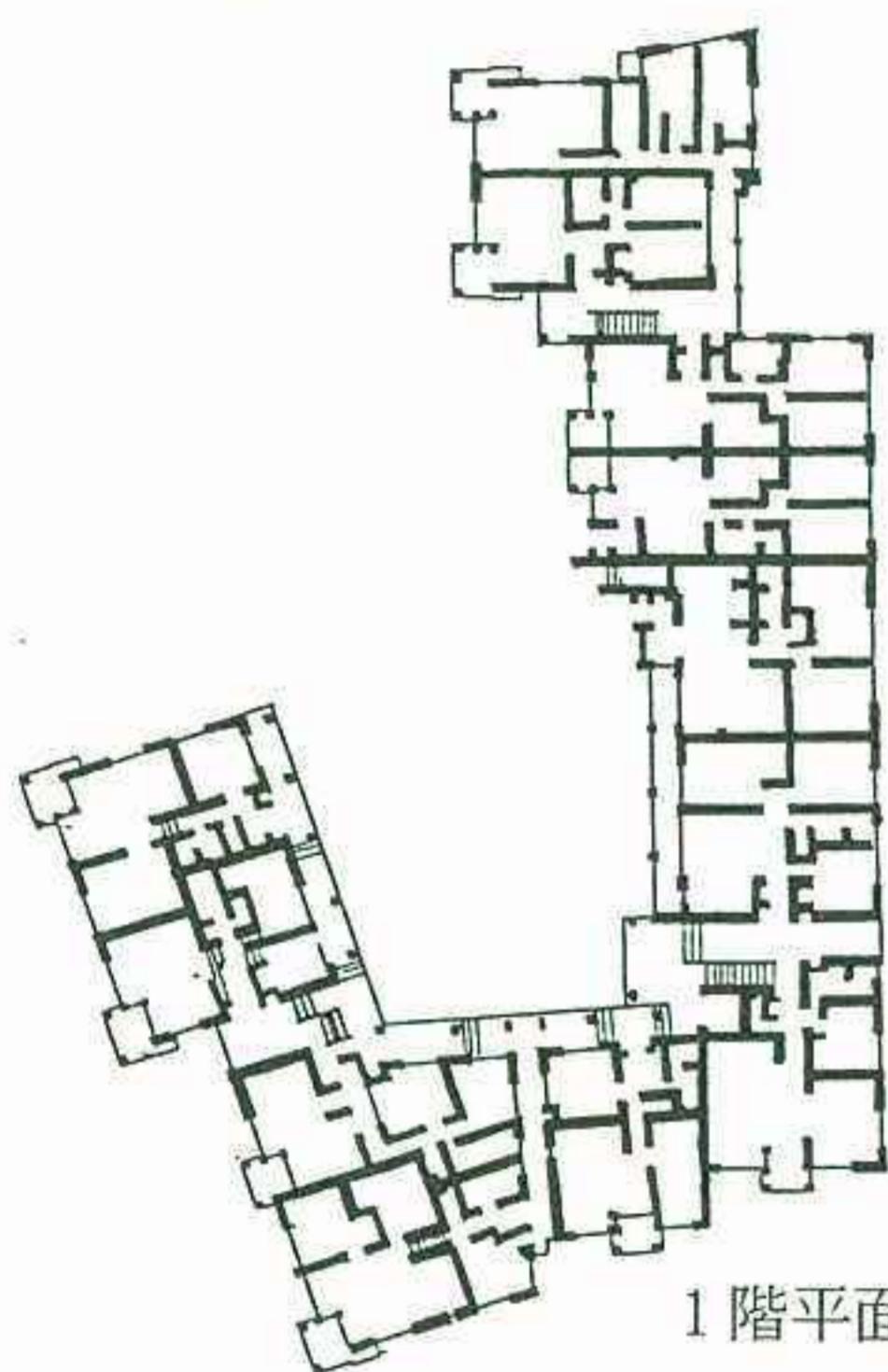


- ・2DKの連續

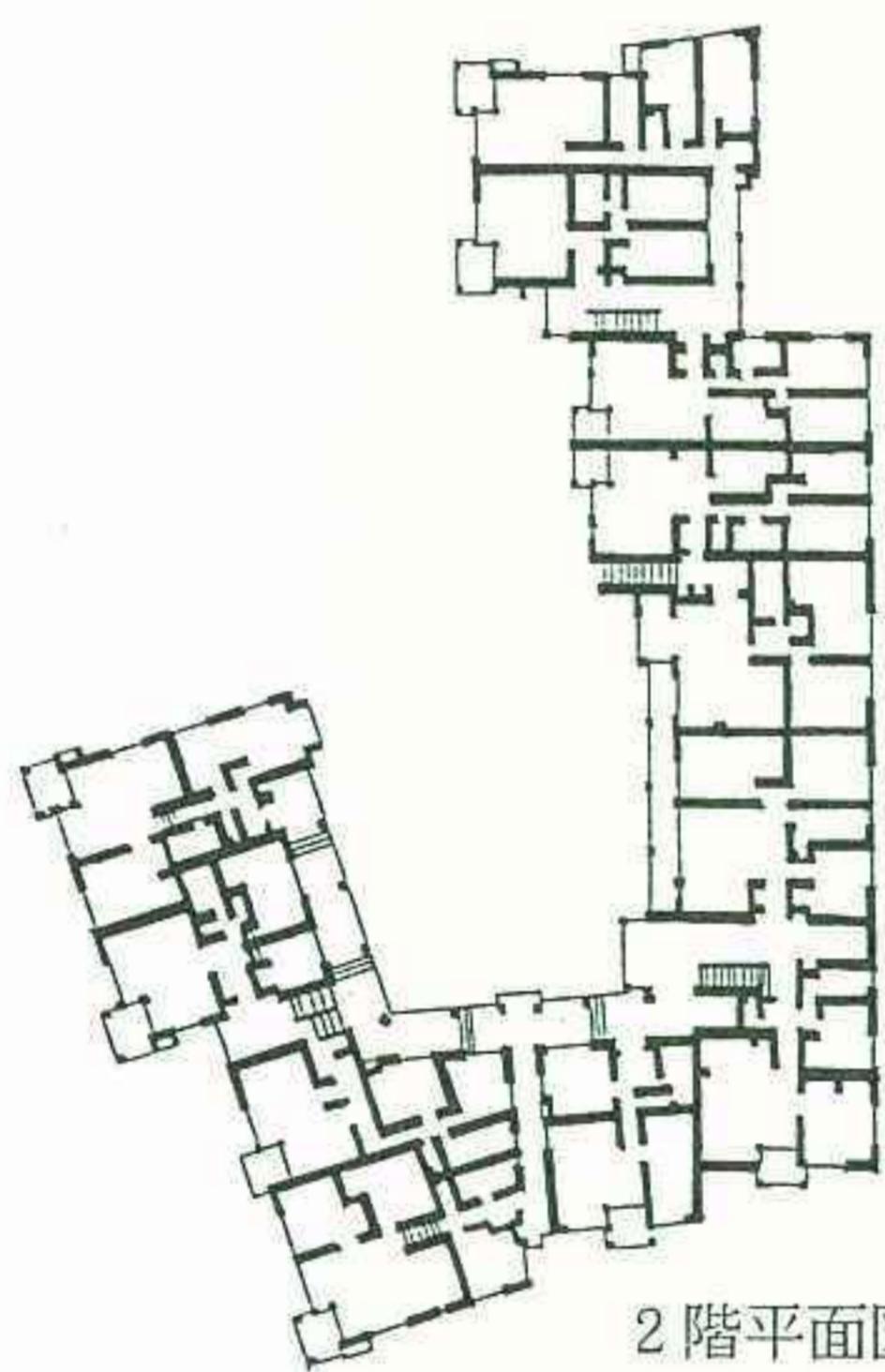


建築の平面計画は間取り、広さをさまざまにつくるとよい。1ルーム、1K、1DK、2DK、2LDK、3LDK・・・そうすれば、一つの建物が若者から小家族、大家族などのさまざまな構成となり、町全体が多くの中年層を持つことになる。

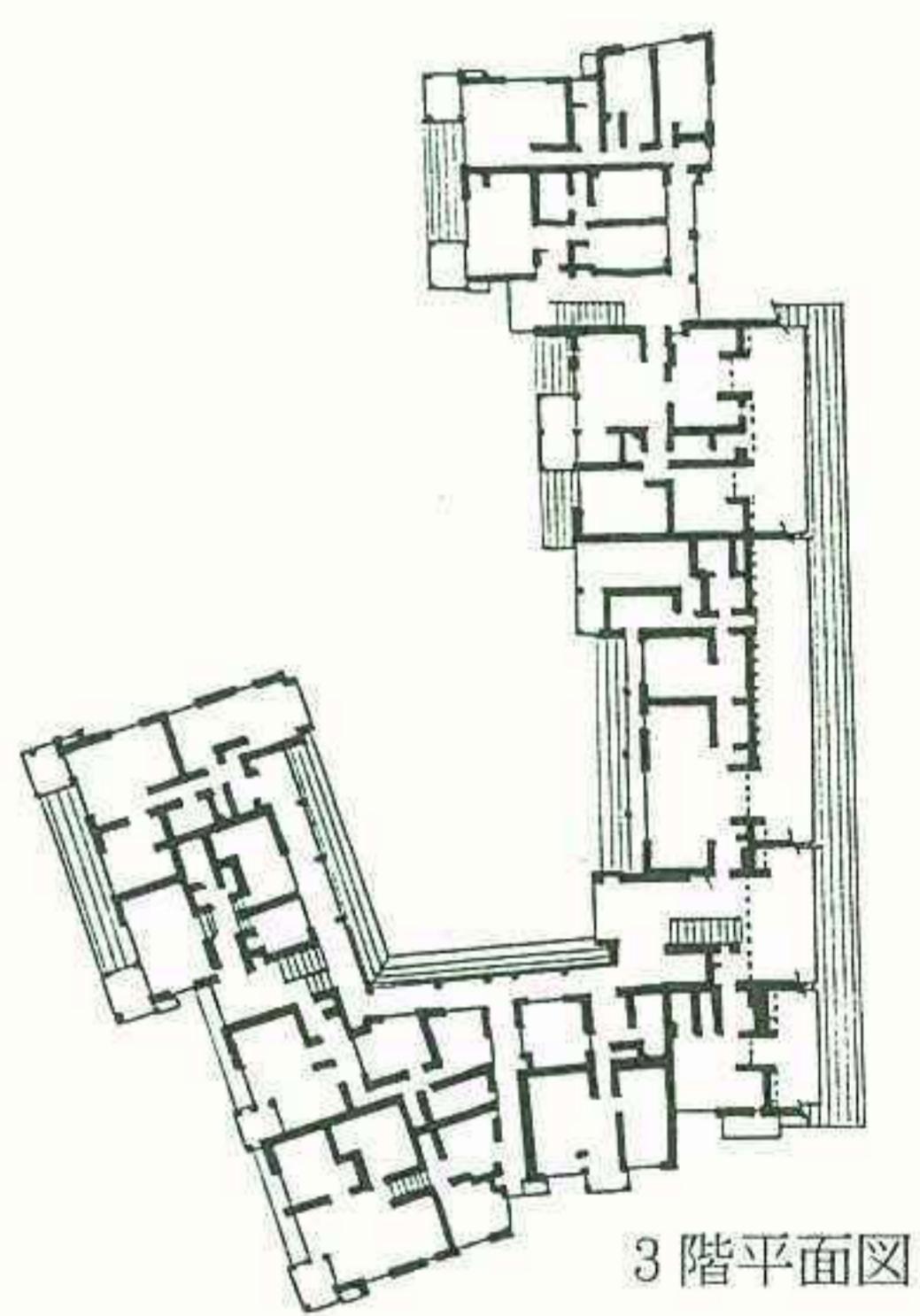
●多くの年齢層で構成される建物



1階平面図



2階平面図



3階平面図



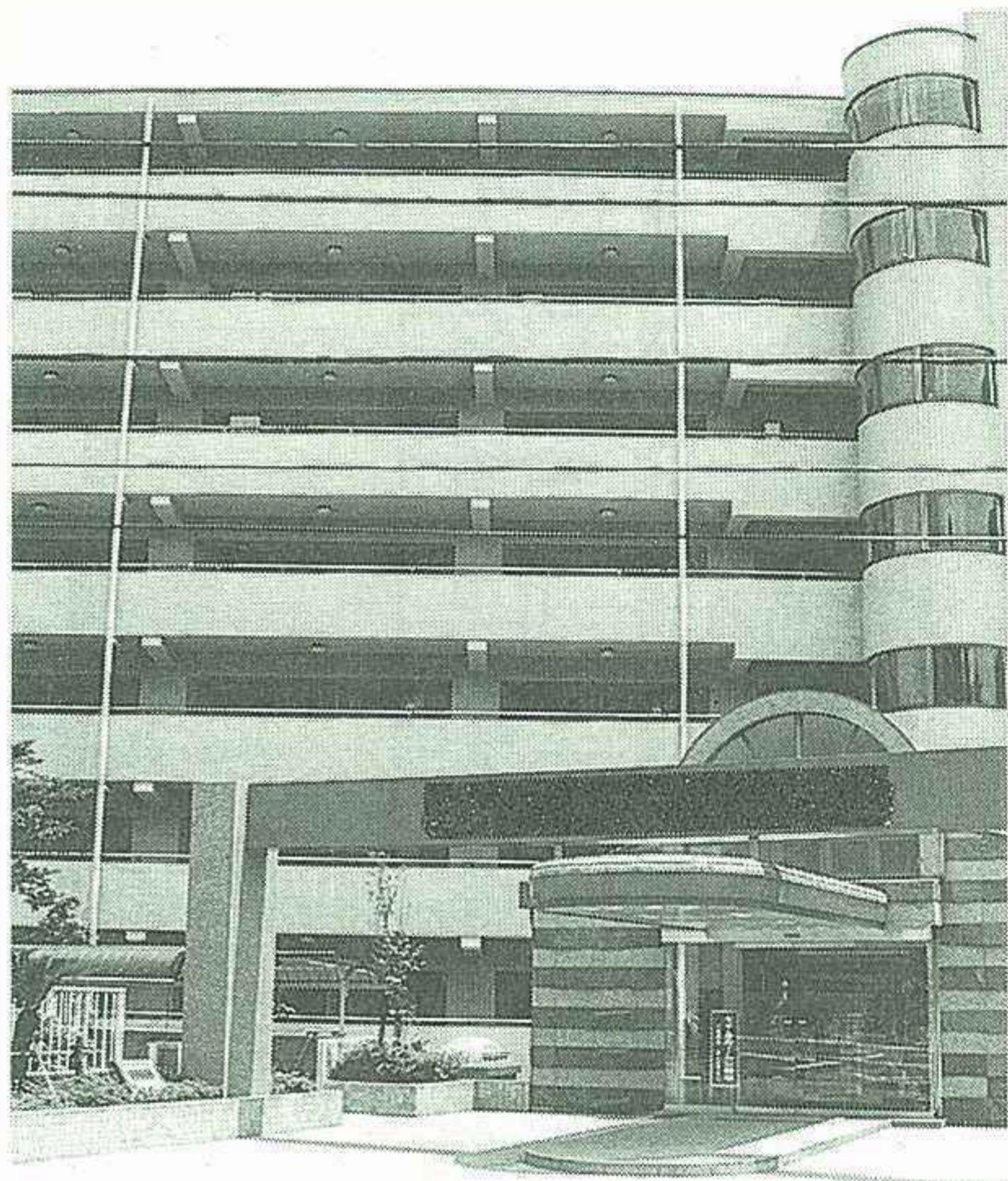
キーワード

前提条件

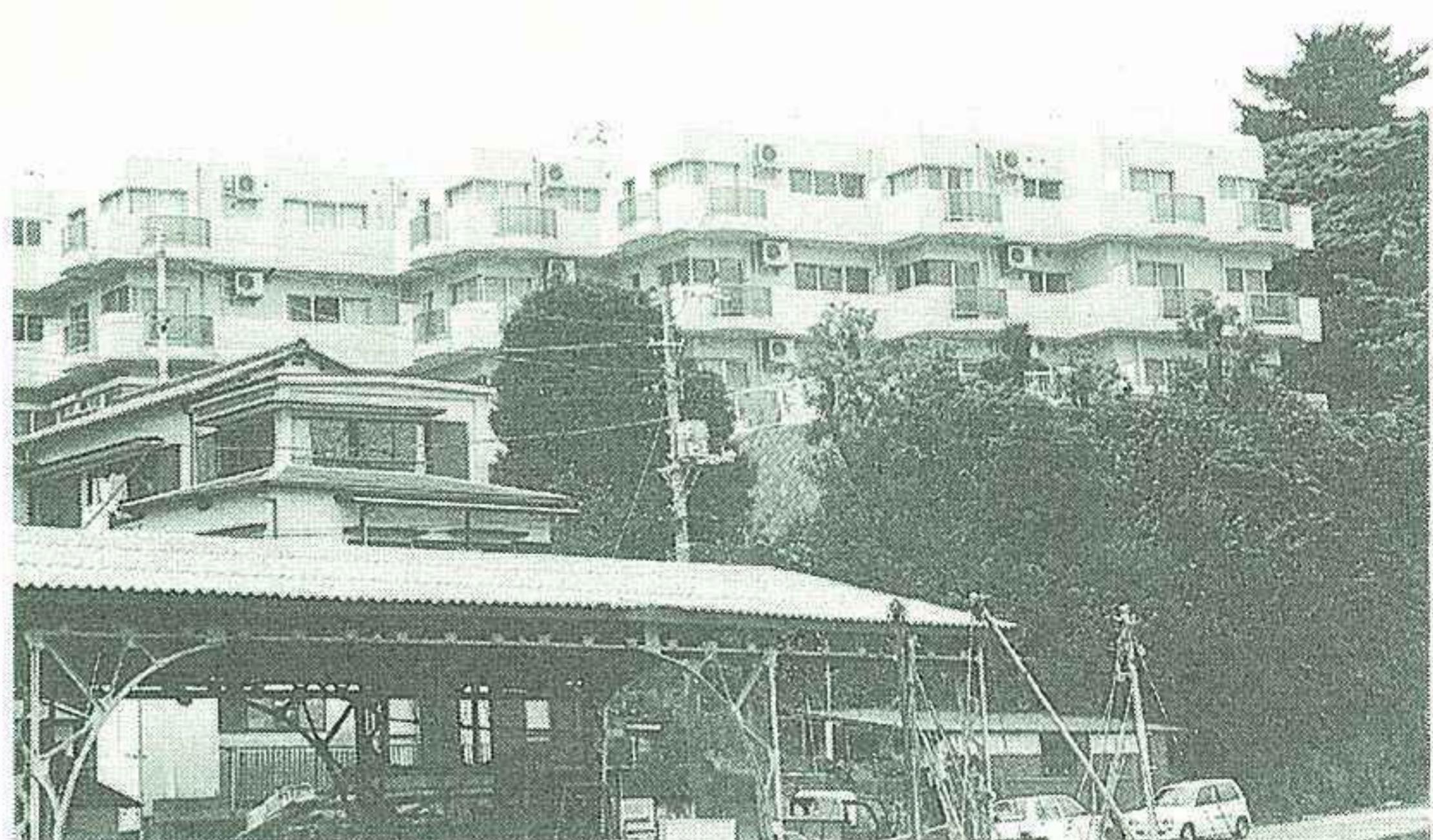
○人の気配

リゾートマンションは昼間、夜間又は季節などによって人がいなくなる。この様な無人の状態の建築は、しばしば町を活気のないものにする。

●全く人の気配がないマンション

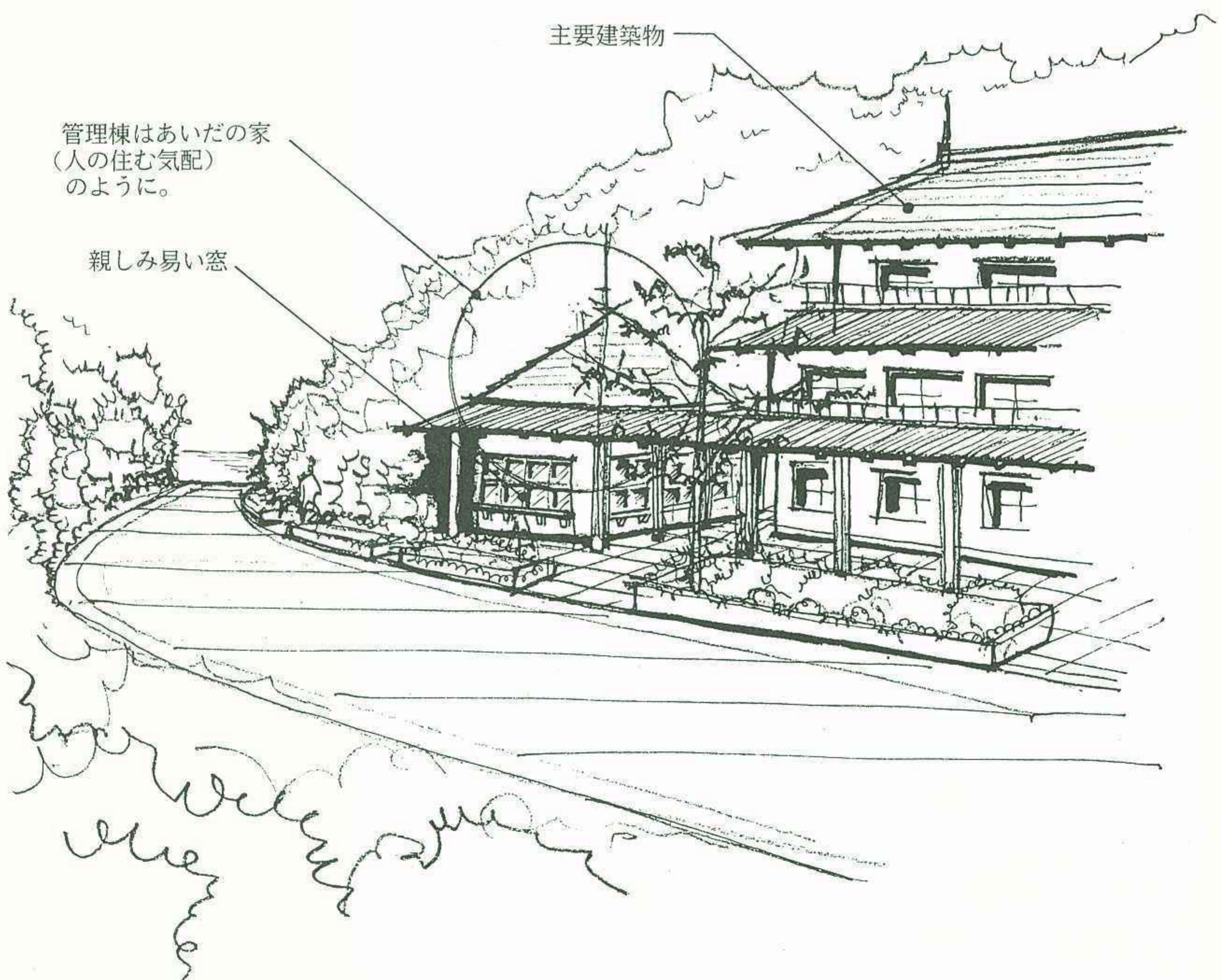


●エアコンの室外機の連続が設計者の外部に対する関心のなさを表している



週末利用型、リゾート型と思われる建築には管理人を置くこと。管理室は街や道に向かって人間関係の生まれやすい窓を設けること。できれば管理棟は別棟又は分離された小住宅の様にデザインし、人が居住することを表すようにすると良い。

- 世帯の混合により実際の居住を促すことは勿論、建物自体を「人の見え隠れする気配のもの」、とすることは大変重要なことである。
せめて常駐管理室はさびしいものでないようにしたい



キーワード

前提条件

○お年寄り

お年寄りはお年寄りを必要とするが、同時に若者も必要である。また、若者もお年寄りとの接触を必要としている。

車通りが激しく、休む場のない長い道や坂は、体力のないお年寄りにとって外出するチャンスを奪ってしまう。

●お年寄りの敵は、大きなトラック



●ほんの少しの余地があれば



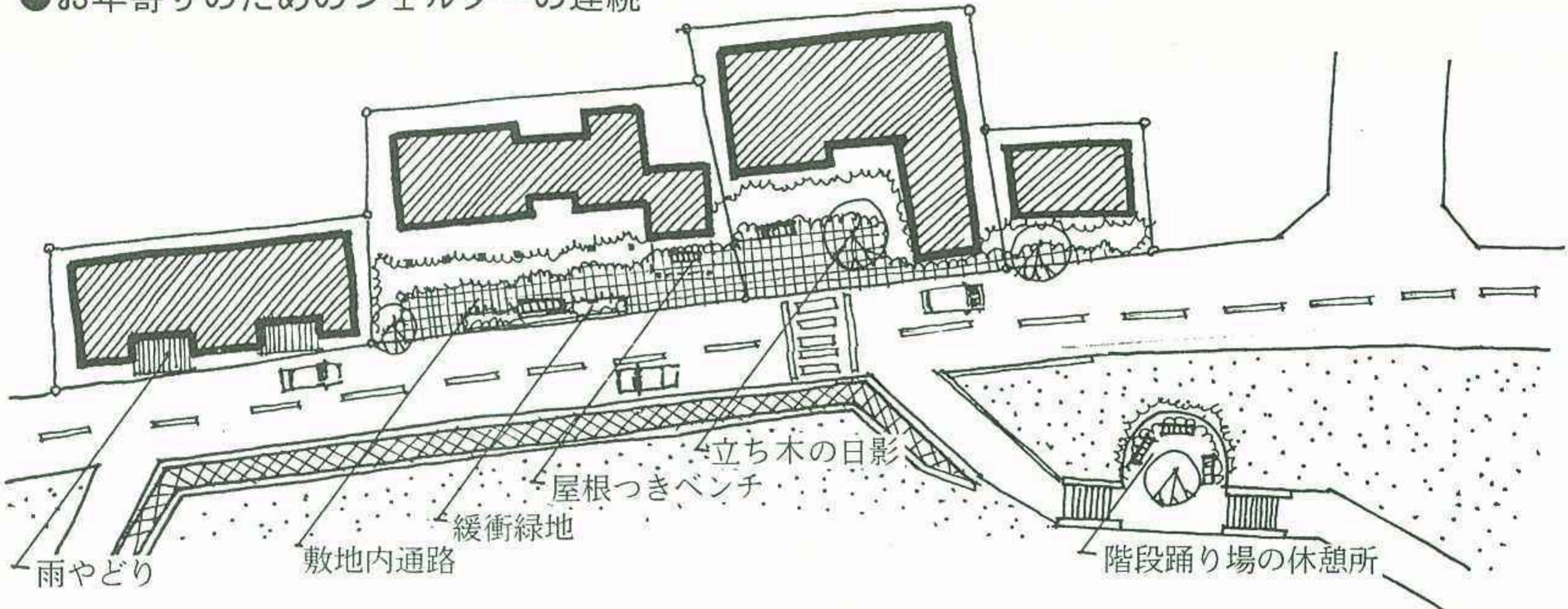
解 決 法

課 題

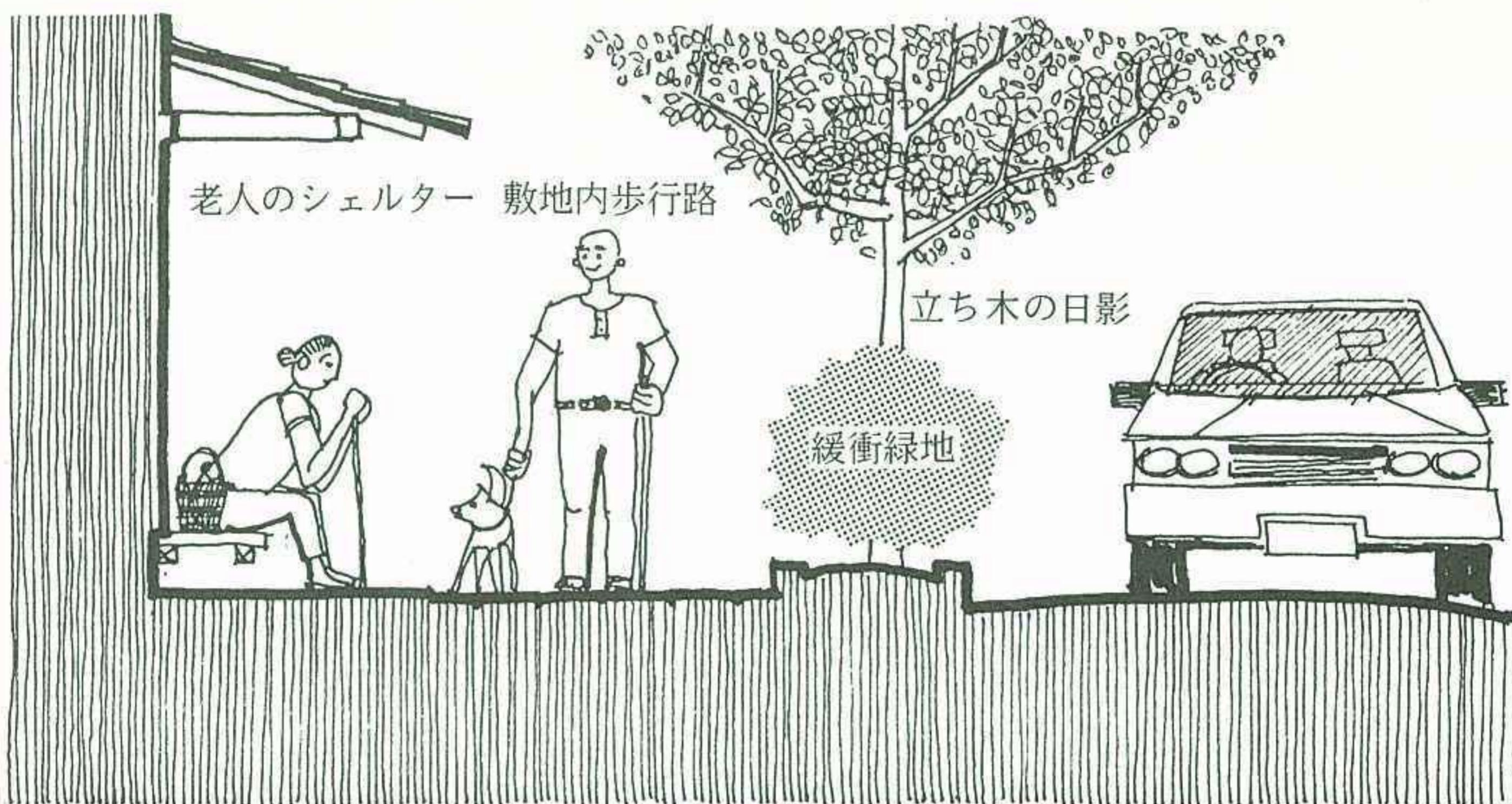
お年寄りが散歩するための敷地内歩行路、小広場、それが不可能ならば、ぬれえん、ベンチ、雨やどり場又は木立の日影でもよい。

建築の一部にお年寄りのためのシェルターをつくること。

●お年寄りのためのシェルターの連続



●お年寄りが安心して散歩できる空間の確保



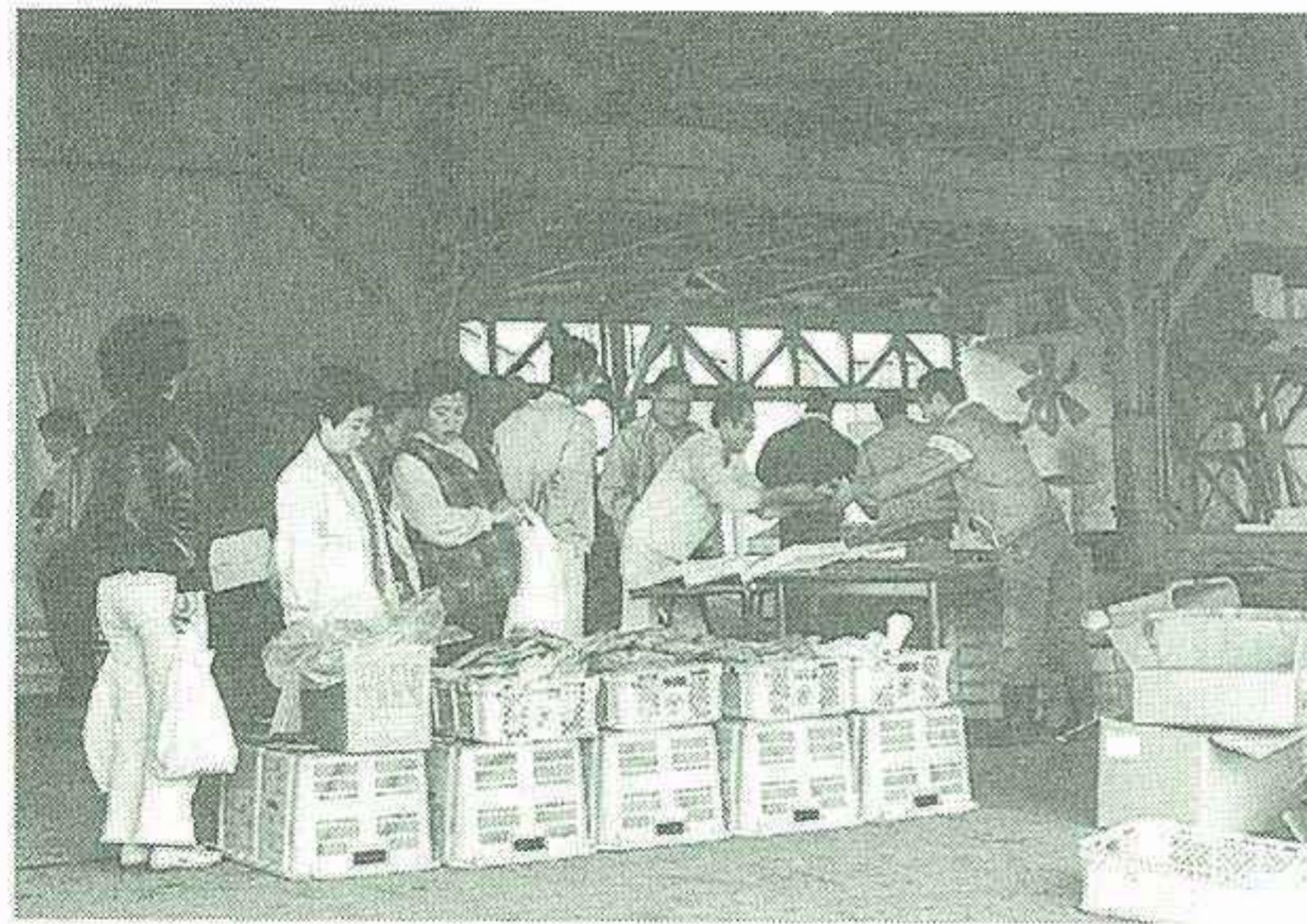
キーワード

前提条件

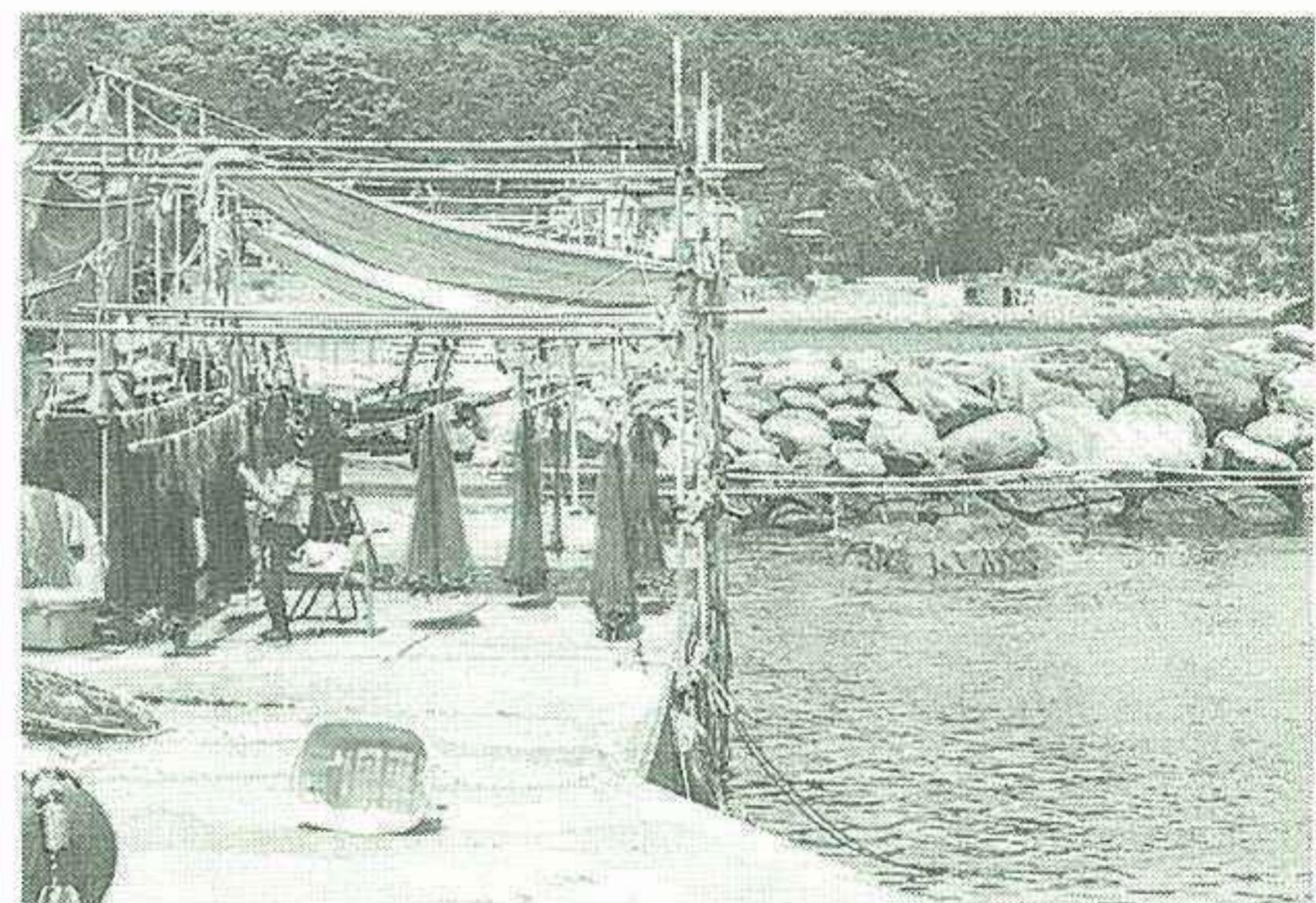
○店先学校

「生涯学習」のテーマの多くは生活や日常と深くかかわる所にこそ生まれてくる。
決して学習会やカルチャーセンターで学ぶだけでは生まれてこない質がある。

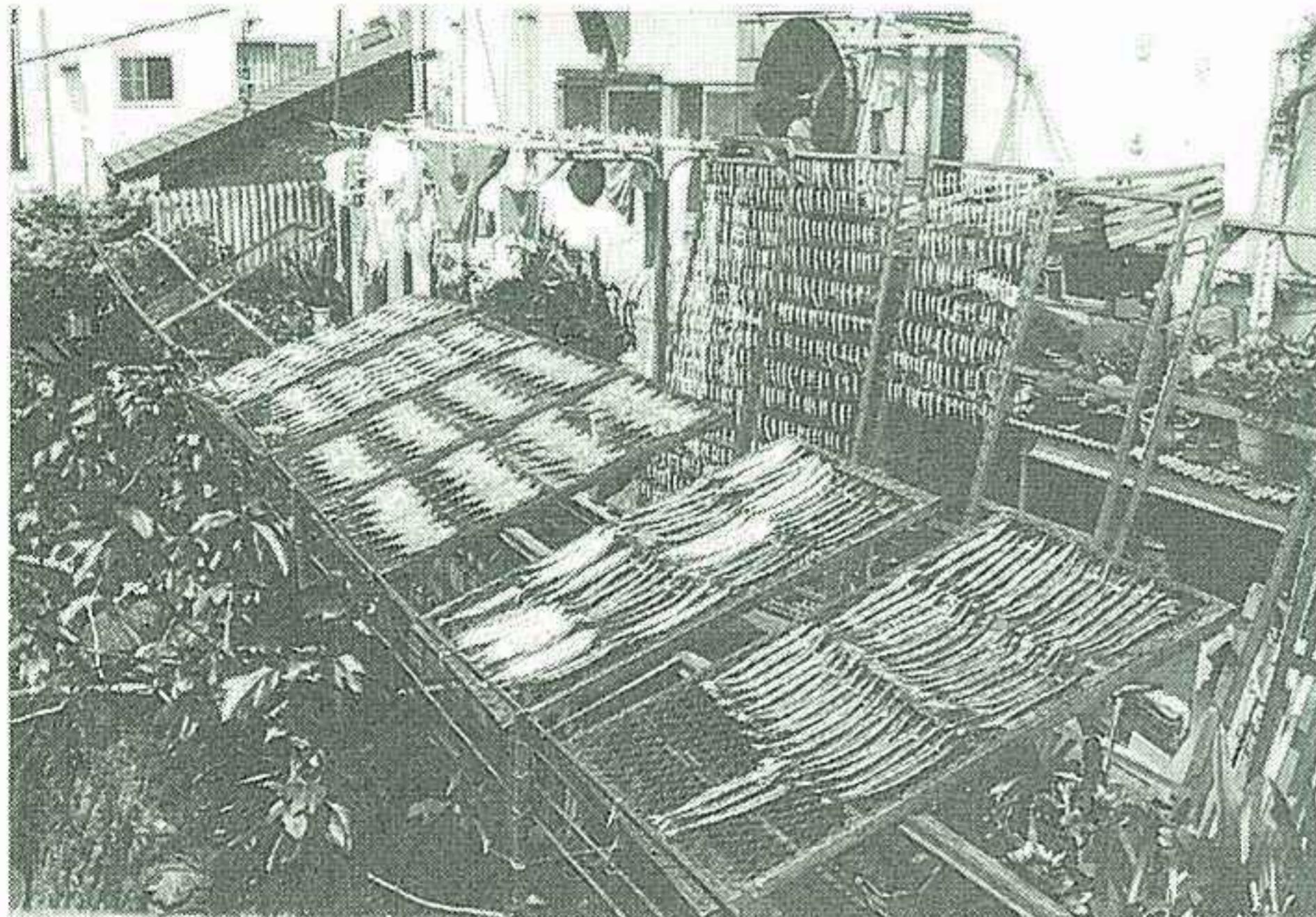
●朝市



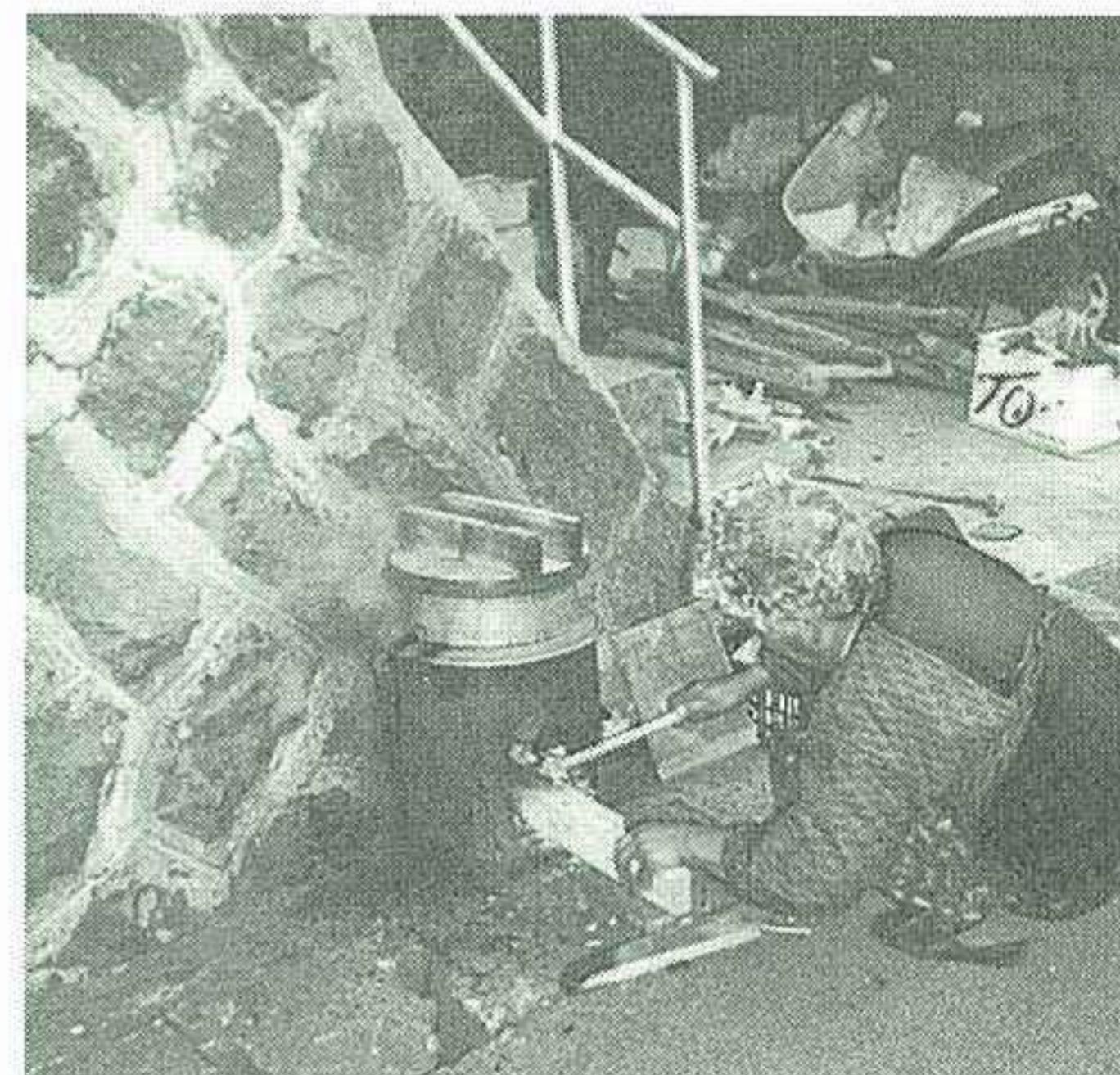
●網干し



●干物づくり

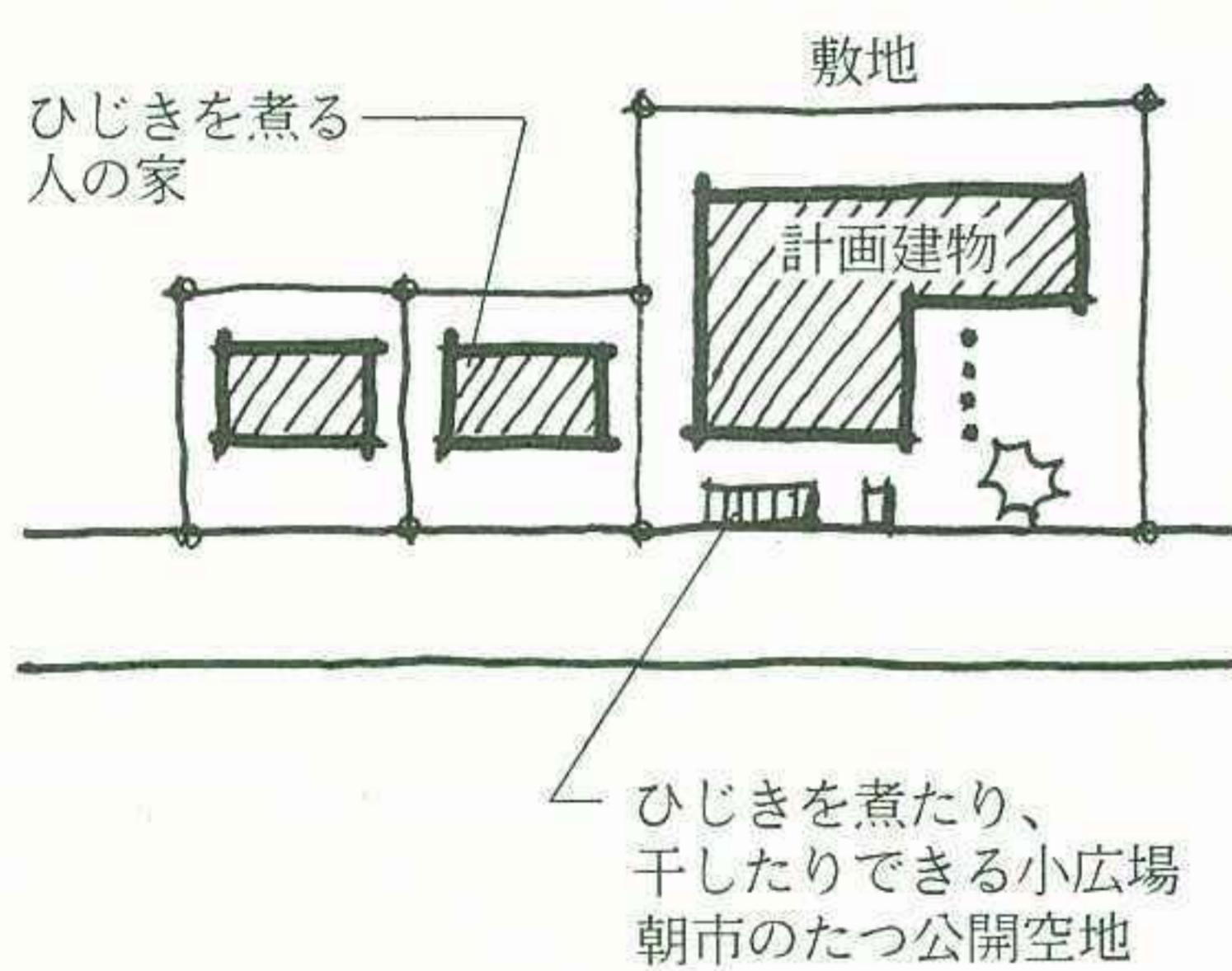


●ひじき煮

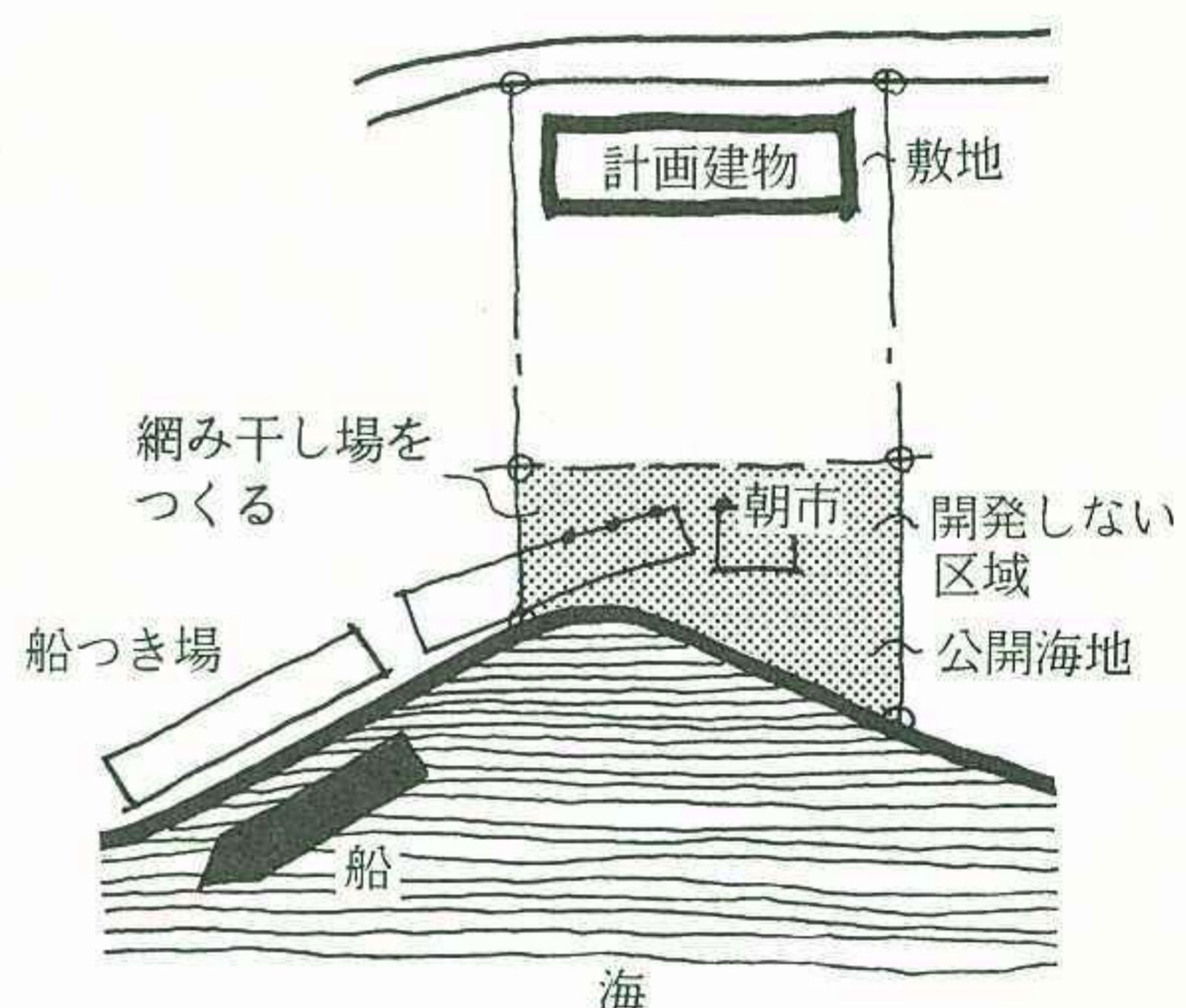


店先、通学路等、思いつく所を日常の学習ができるよう
に仕向けること。

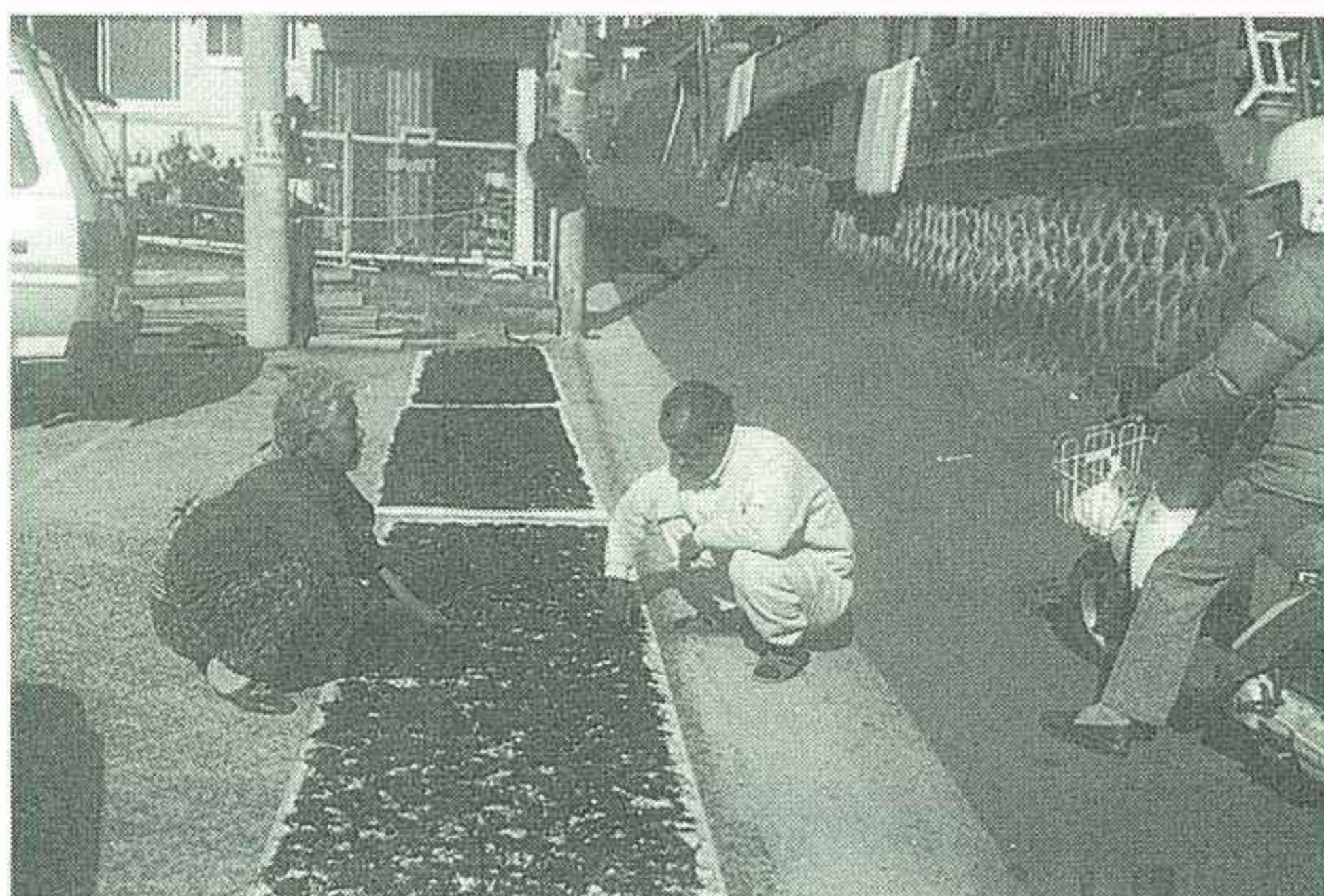
●店先学校のハードウェア（場所）



●店先学校のハードウェア



●ひじき干し



キーワード

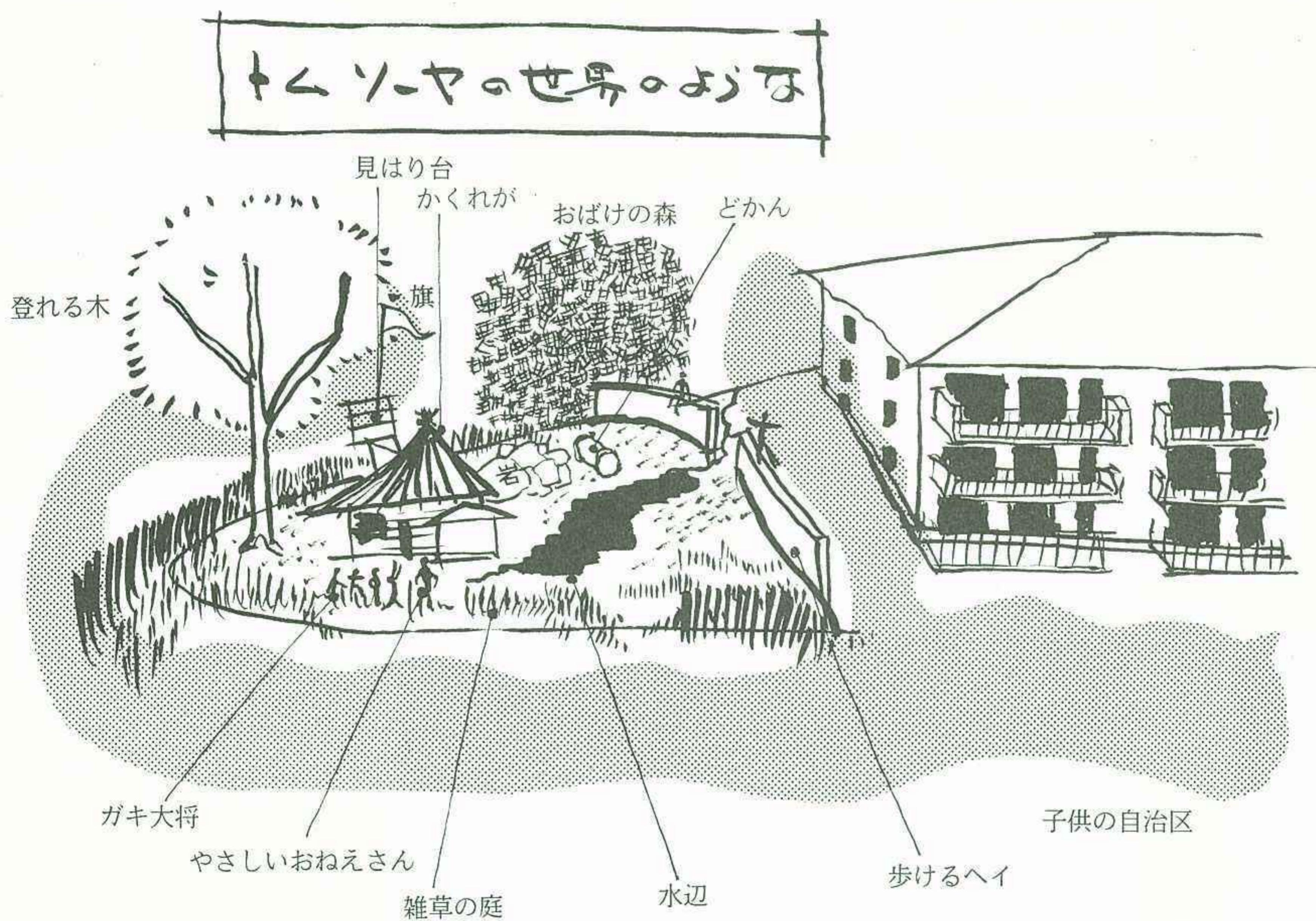
○子供の家

前提条件

大きい子供が小さい子供のめんどうを見ながら大人になる経験は決して管理された教育制度では得られないものである。

真鶴町では縦割り学級の編成など、子供の世界が広がるよう努めてきた。

●がき大将連盟による、子供自主管理の隠れ家

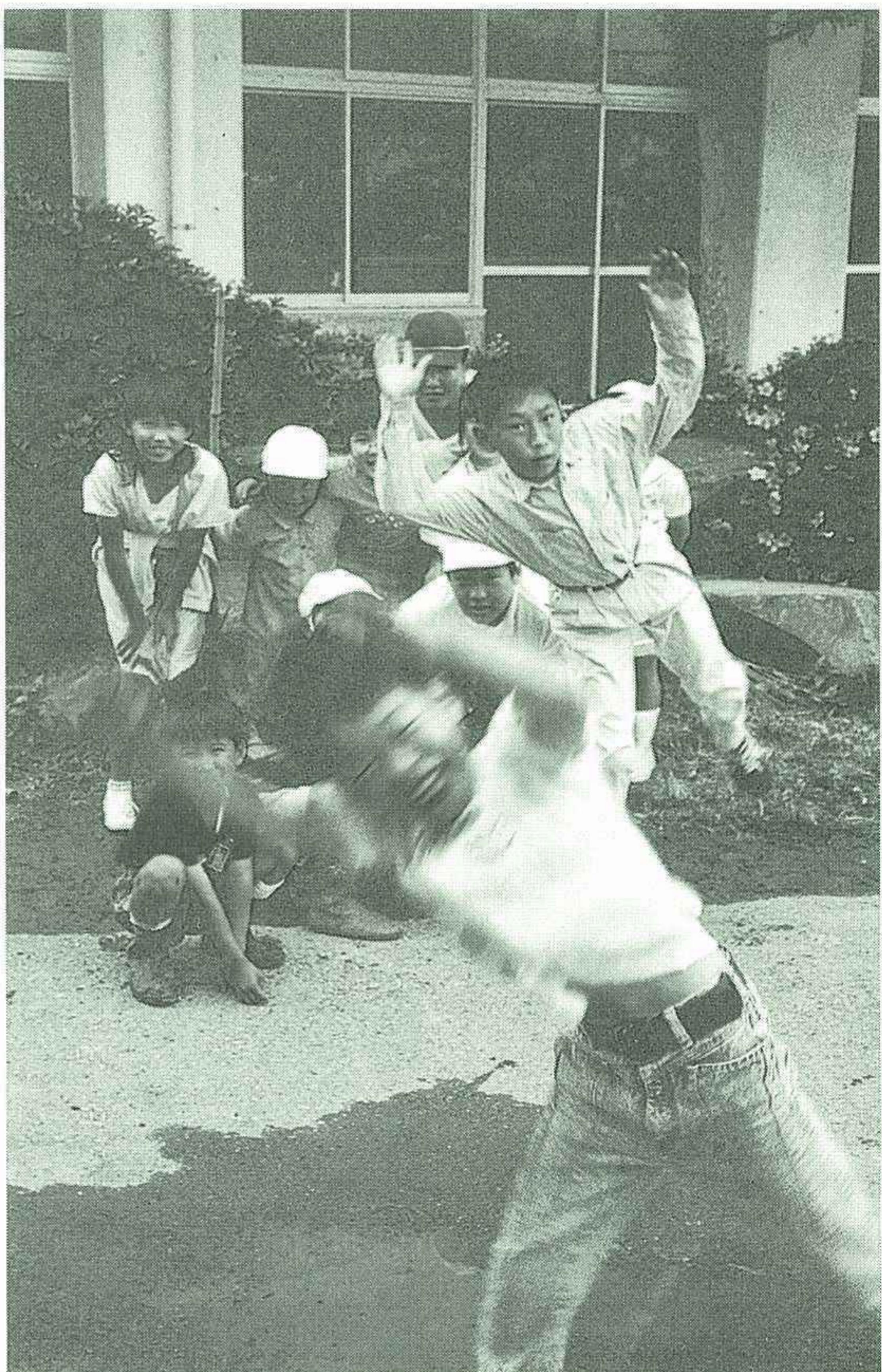


解 決 法

建設に余力がある時は敷地内に子供の家を建てる事。
そこは24時間開放された第二の家（かくれが）の様に運営すること。

課 題

●チビッコ軍団ができる町
真鶴町ではすでに
縦割り学級による
チビッコ軍団やガ
キ大将が生まれつ
つある。
これらを更に発展
させるためには、
それなりの環境が
必要とされる。



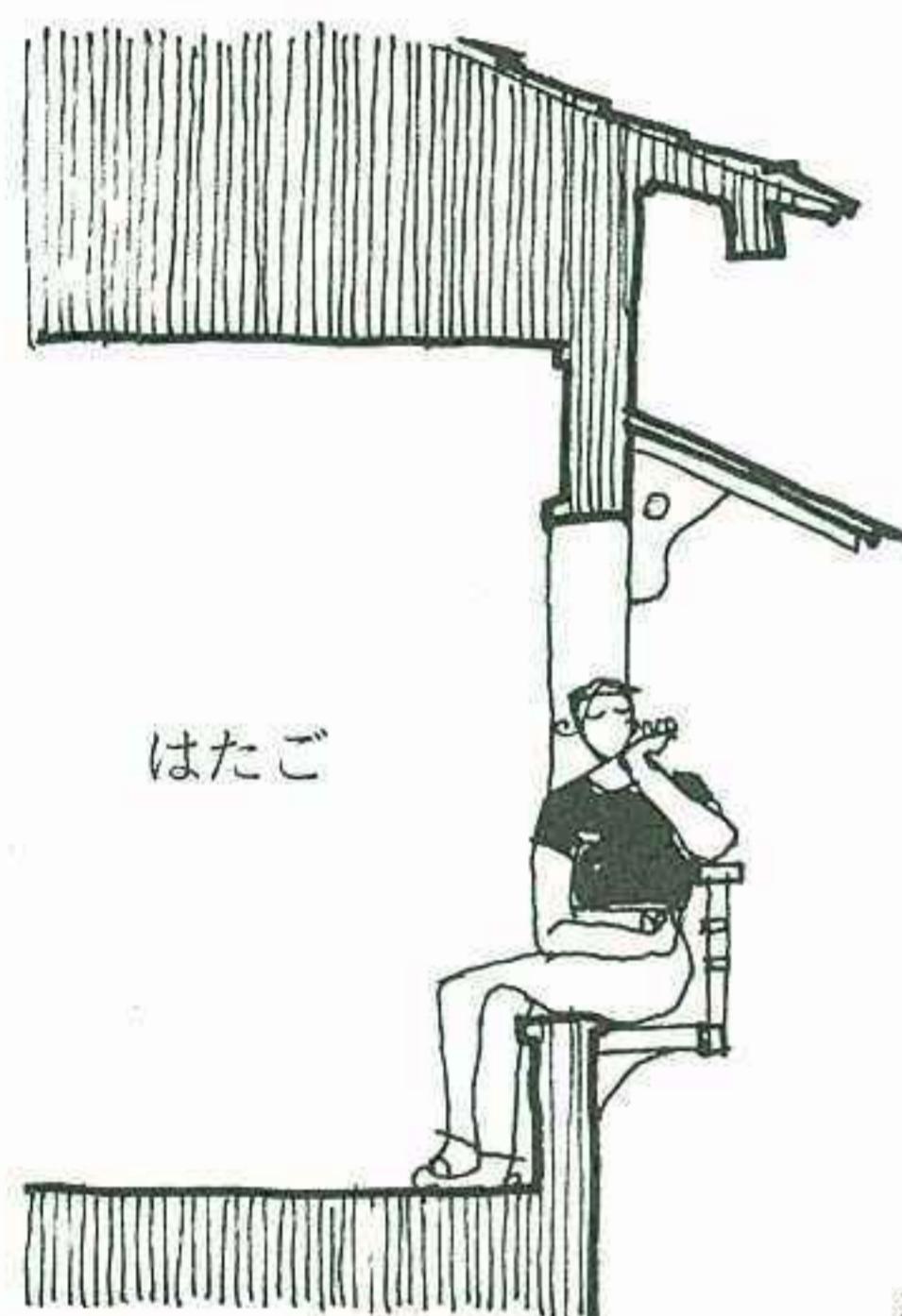
キーワード

前提条件

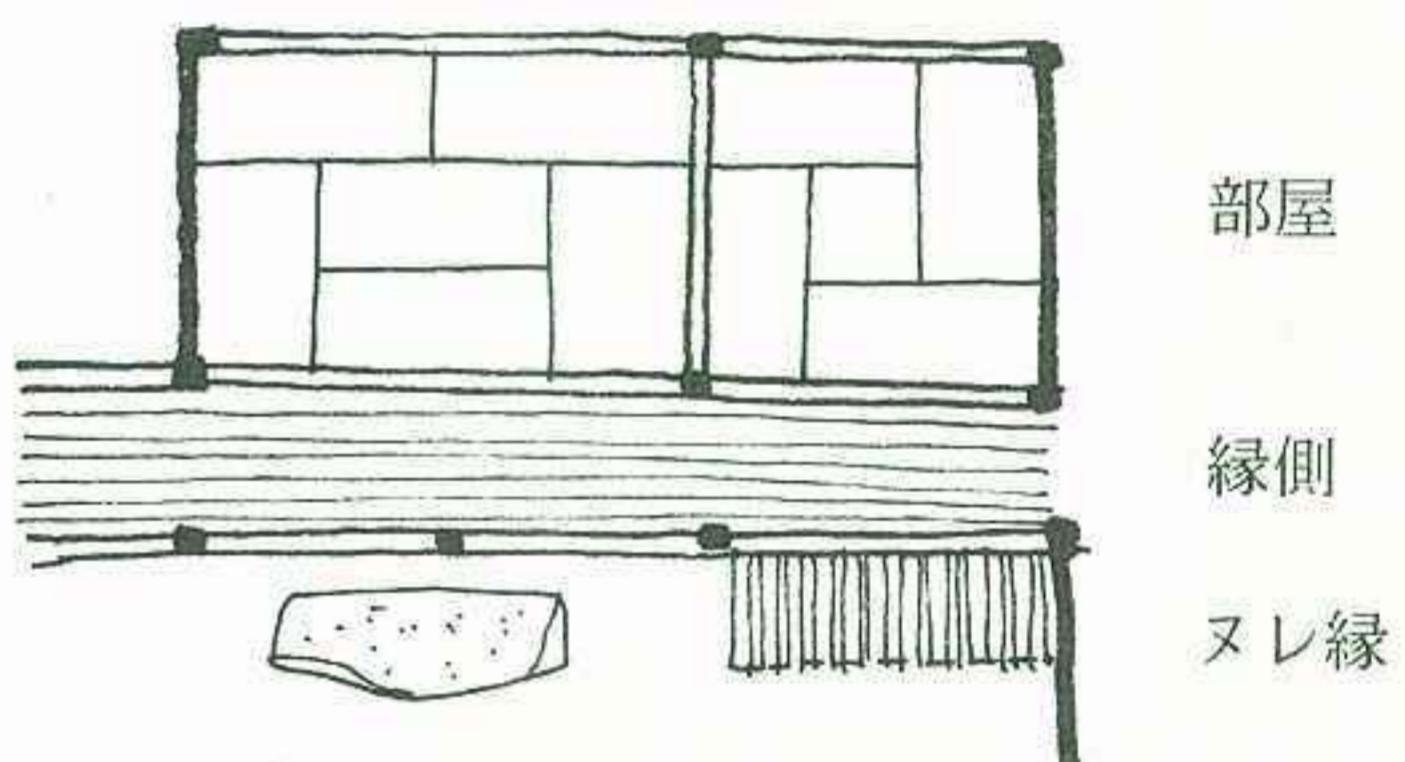
○外廊

周囲の屋外空間を見通すバルコニーやテラスがないと屋内の人も屋外の人も、建物と公的世界との相互のからみ合いを感じ取る手だてを失ってしまう。

●小さい建築の外廊



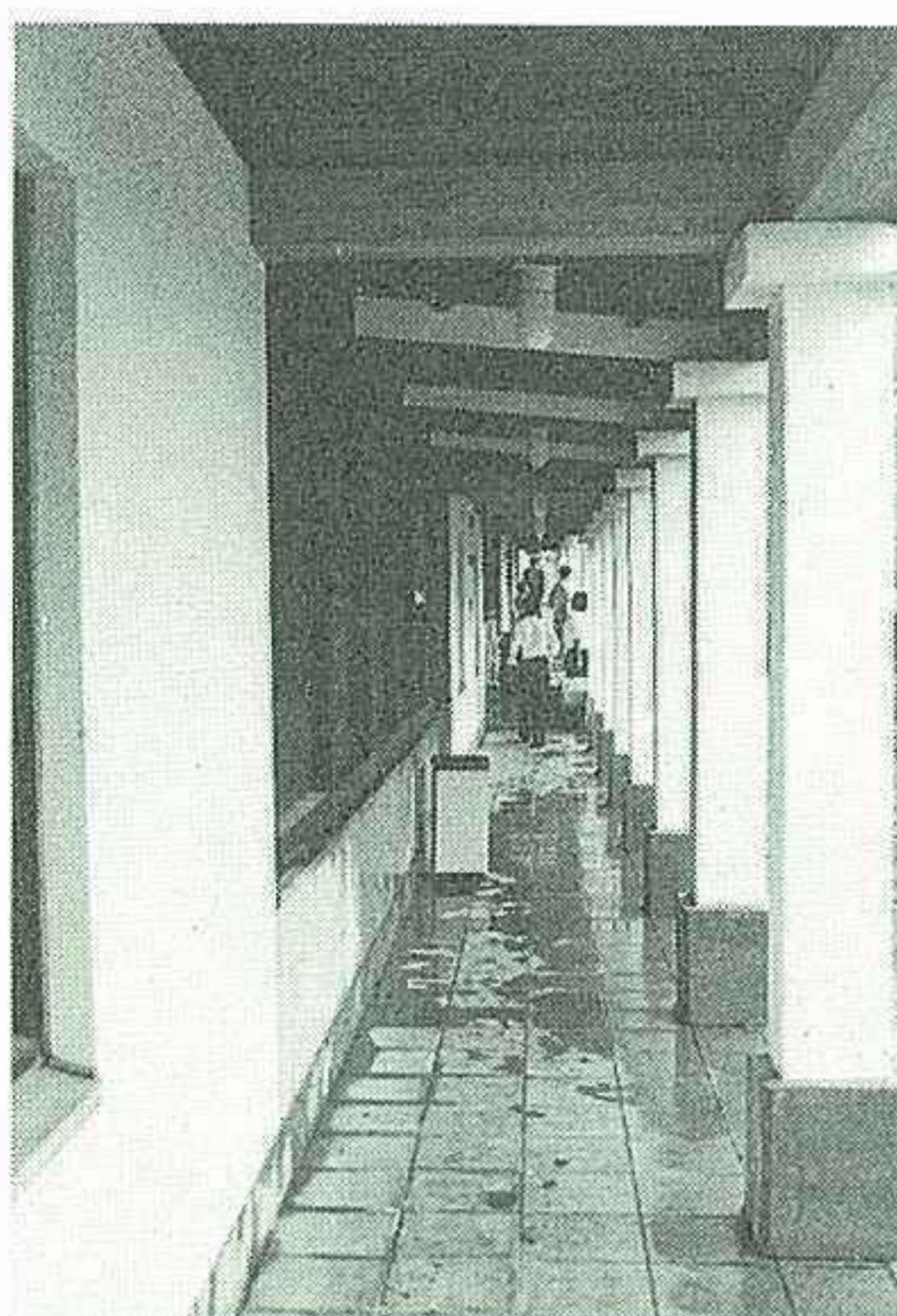
●小さい建築の外廊



※縁側もごく小さい外廊の例である

※はたごのこの窓も外廊に近い性格を持っている

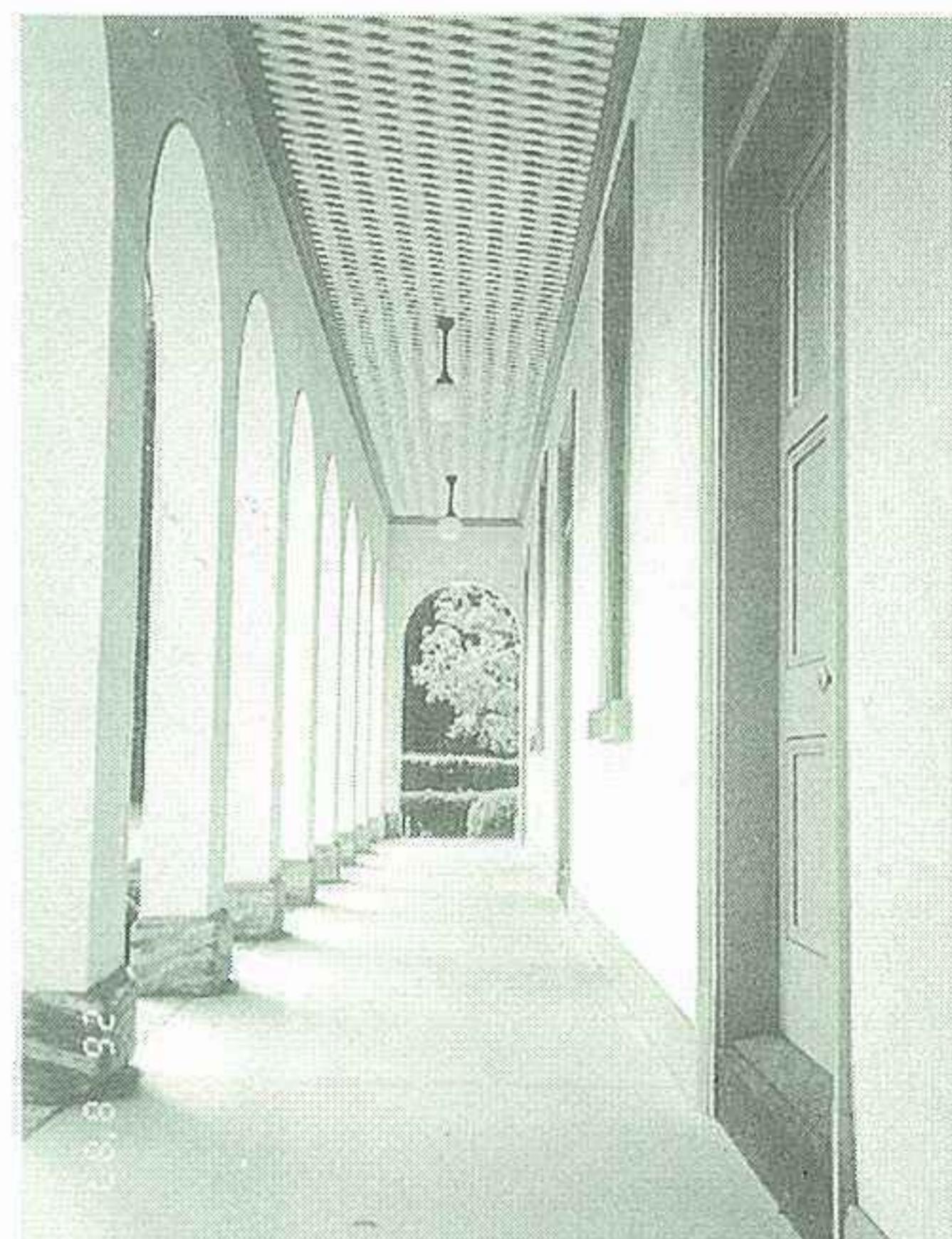
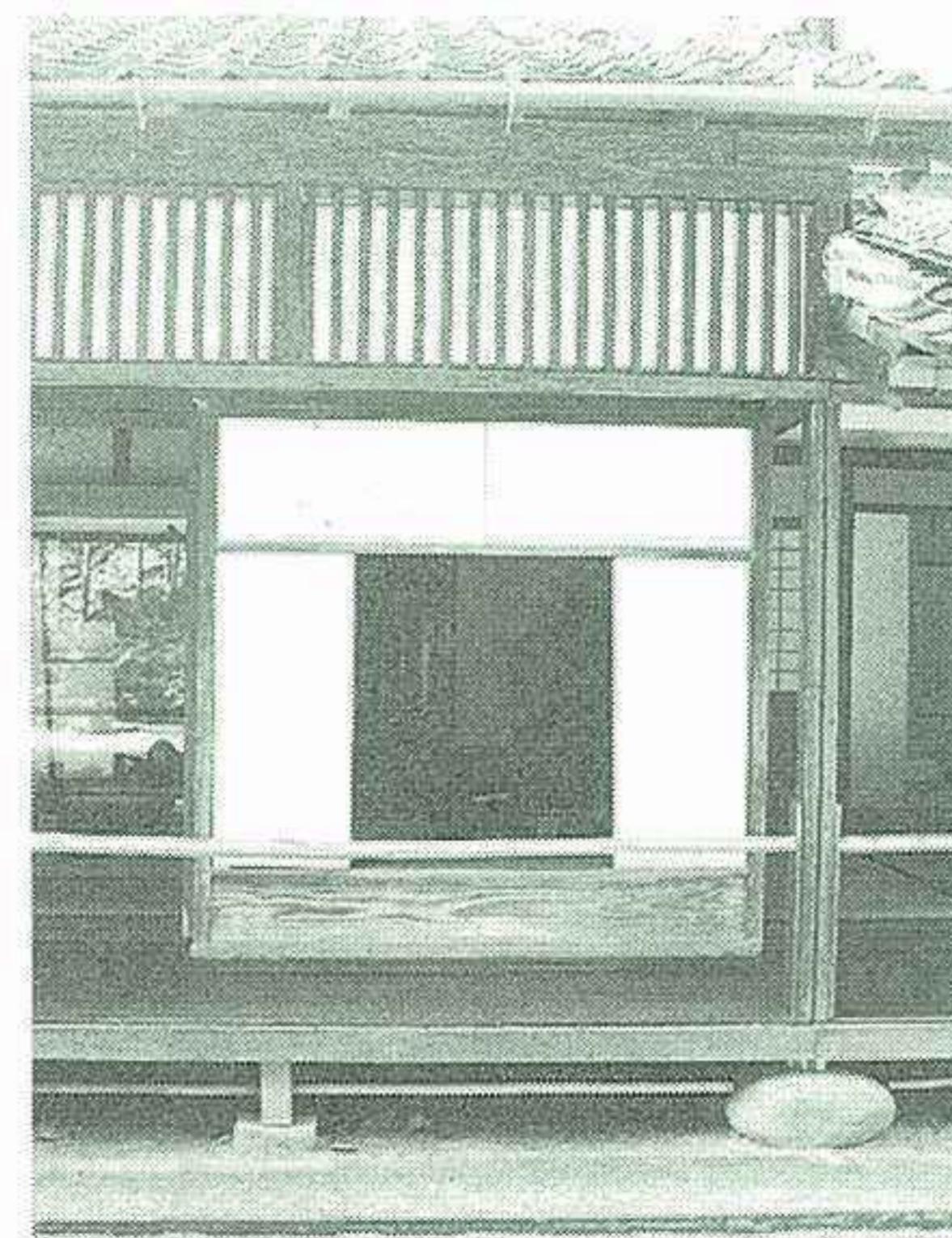
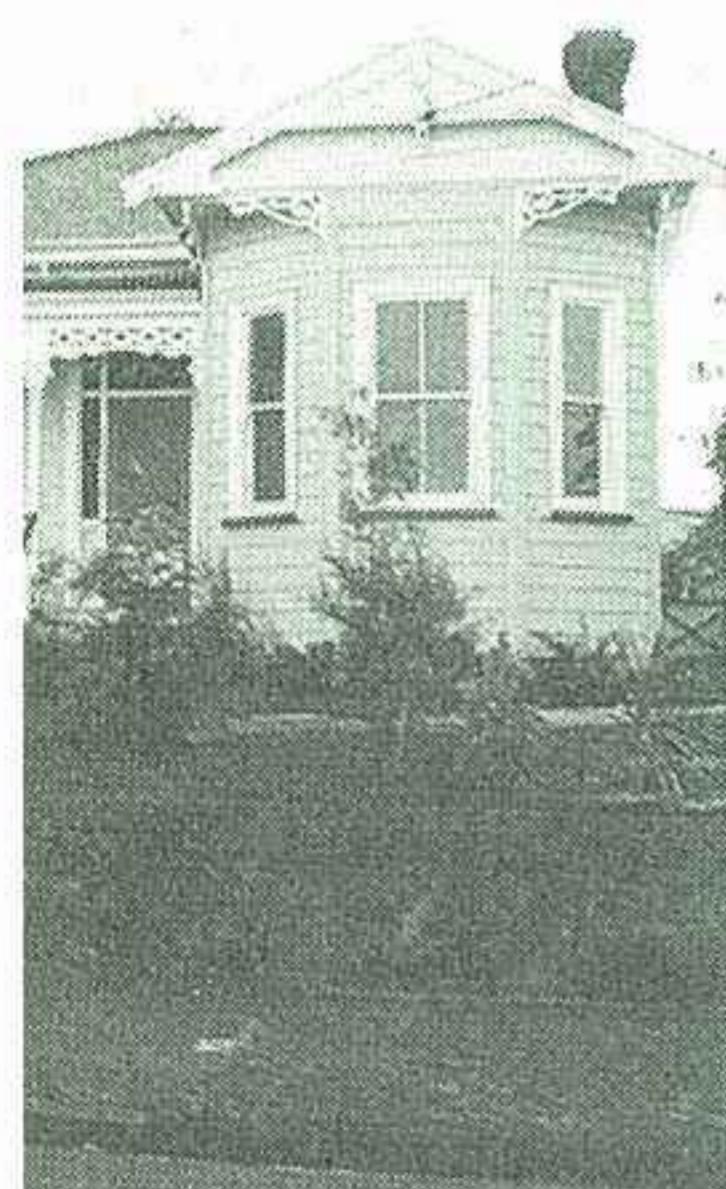
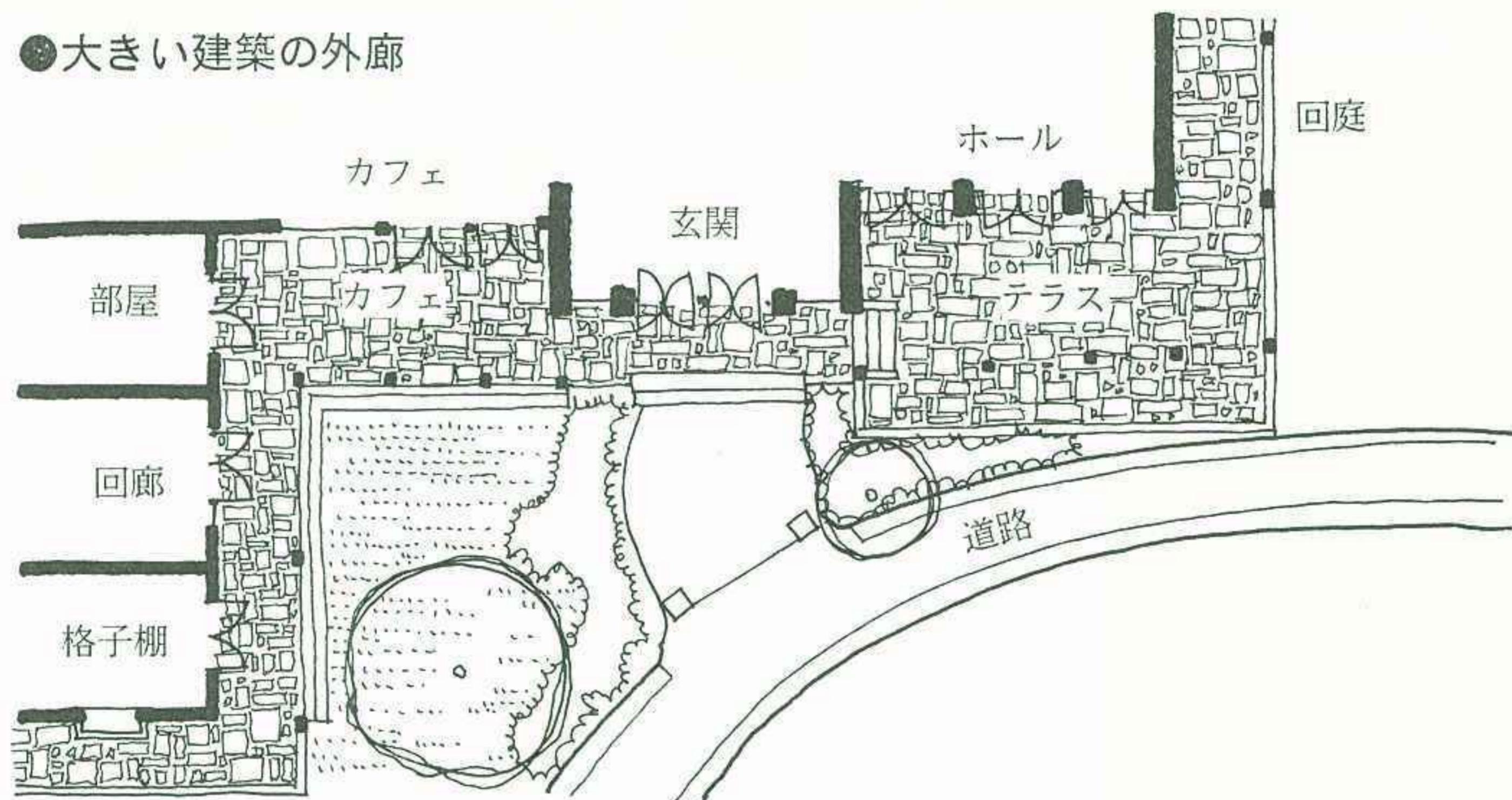
●様々な外廊



建物の外縁には、できれば各階に、ポーチ、柱廊、アーケード、バルコニー、屋外の腰掛け、日除け、格子棚を架けた部屋などを設けること。

とりわけ、公共空間や街路に面する部分は重要であり、室内からドア一つで出られるようにすると良い。

●大きい建築の外廊



キーワード

○小さな人だまり

前提条件

日常生活の中で人はいつでも小さなたまりを作って立ち話をはじめる。これら町の噂、自慢等の世間話は大変楽しいものである。

●立ち話

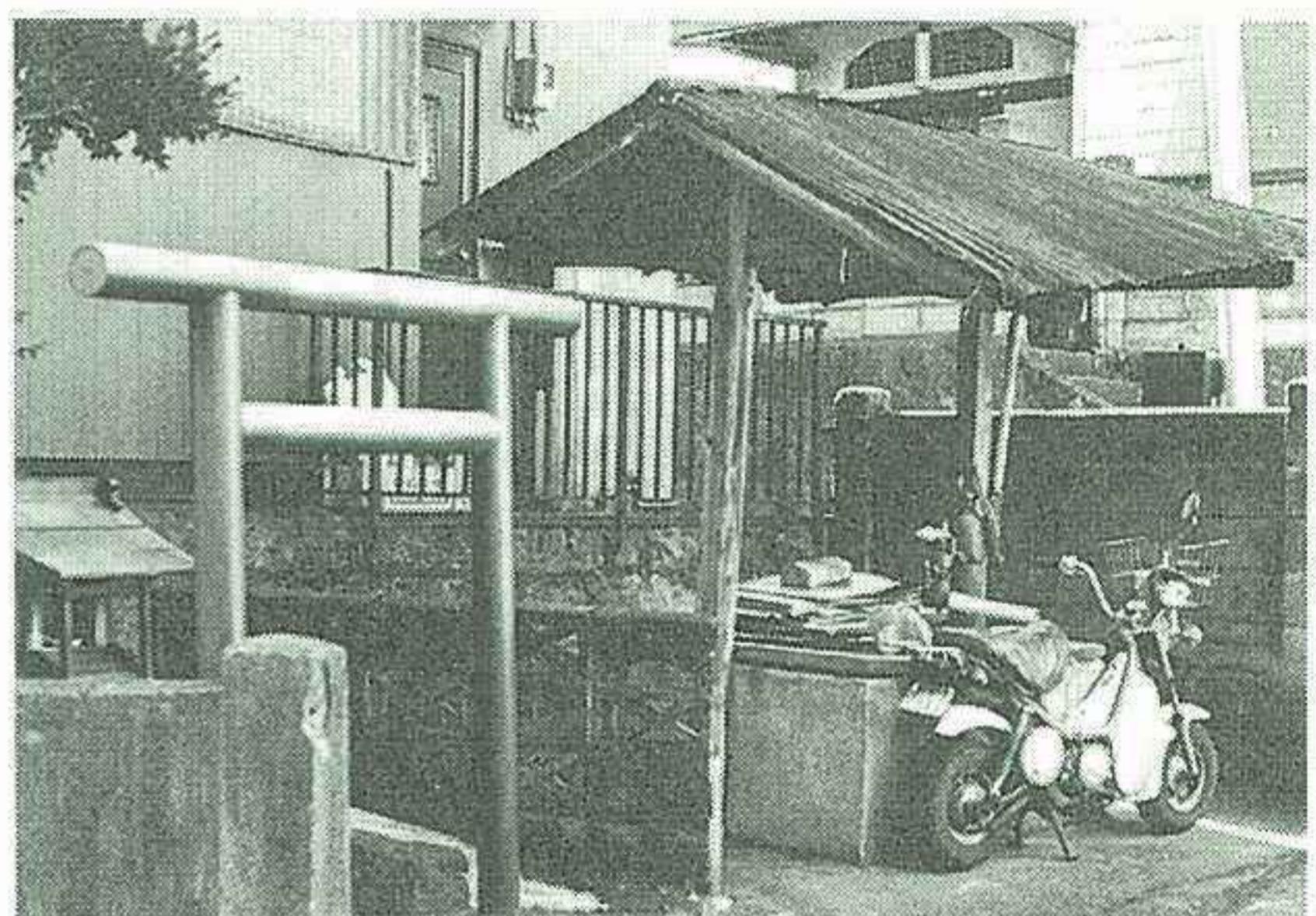
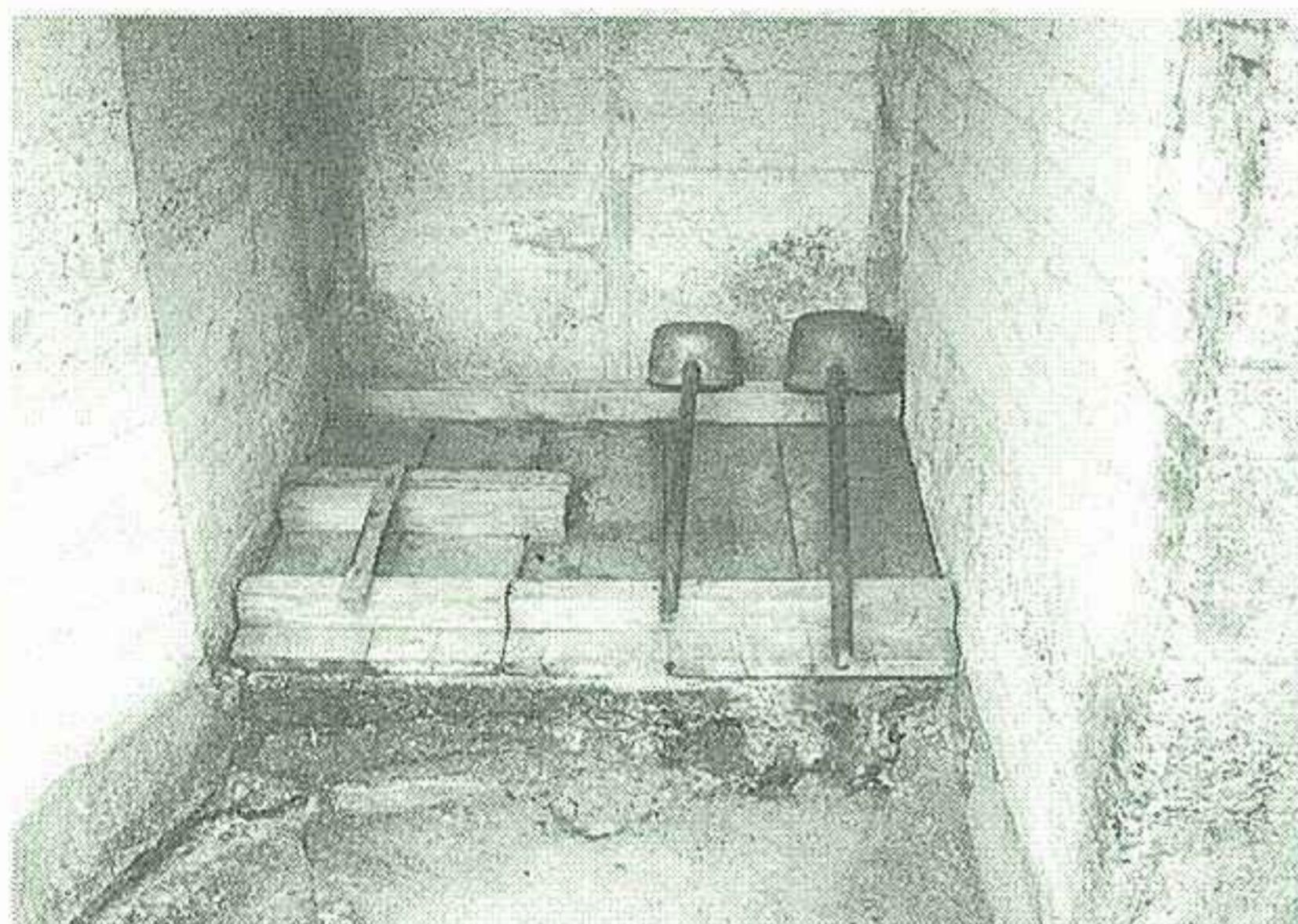


解 決 法

課 題

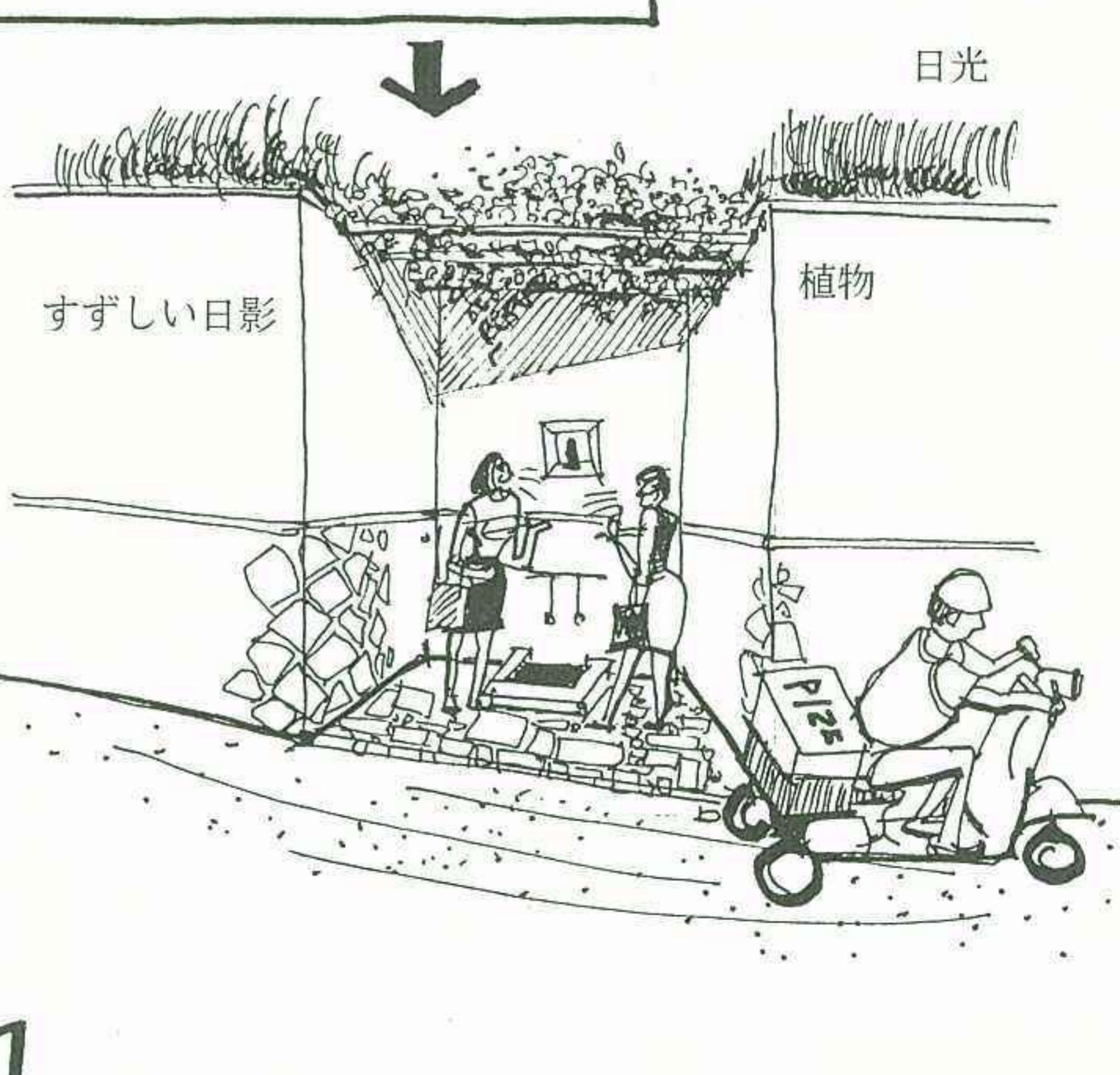
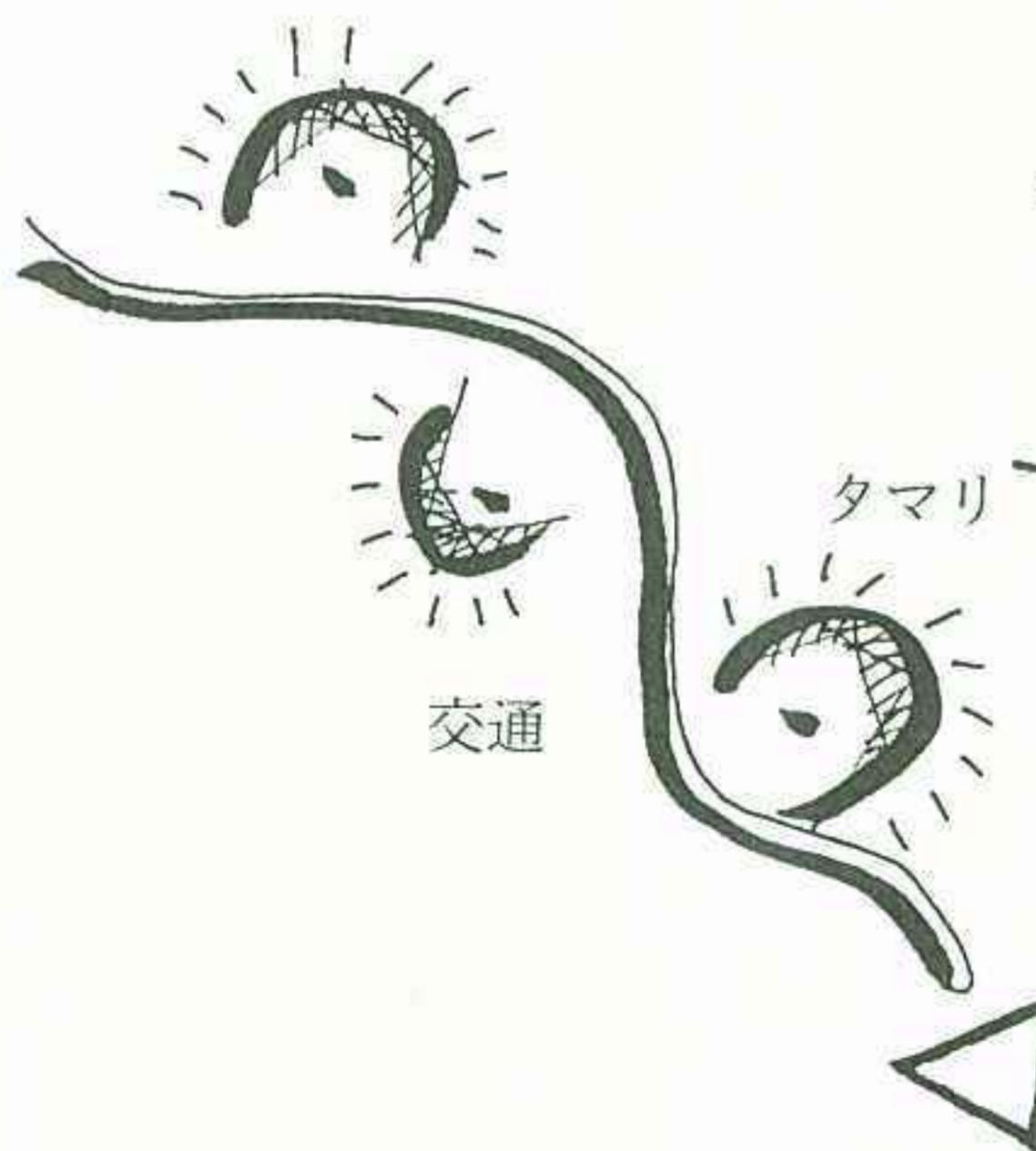
人が立ち話を何時間もできるような、交通に妨げられない小さな人だまりをつくること。
背後が囲まれていたり、真ん中に何か寄りつくものがある様につくること。

●このような場所を使って



●小さな人だまりを作る

●交通上安全な場所



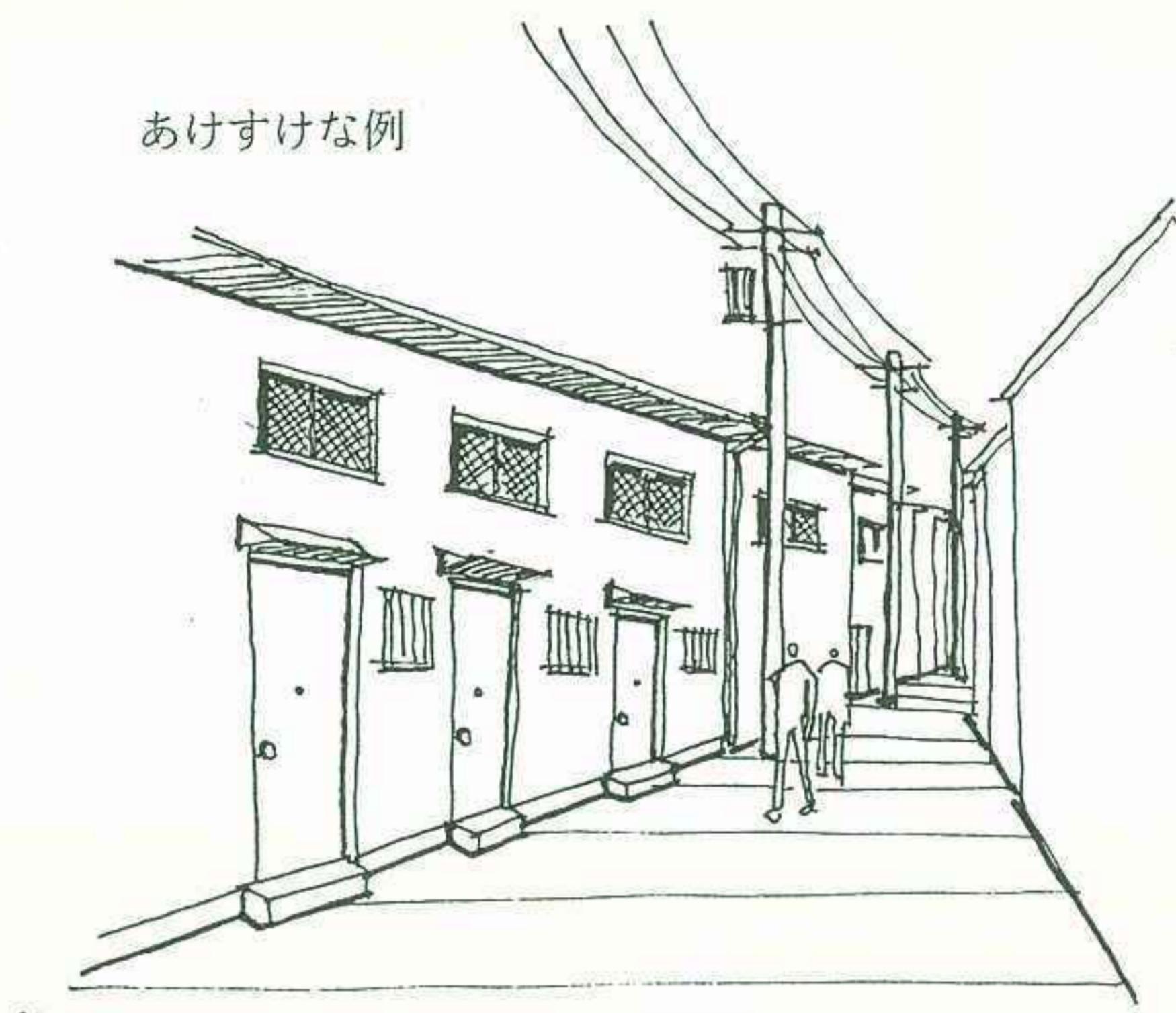
キーワード

前提条件

○街路を見下ろすテラス

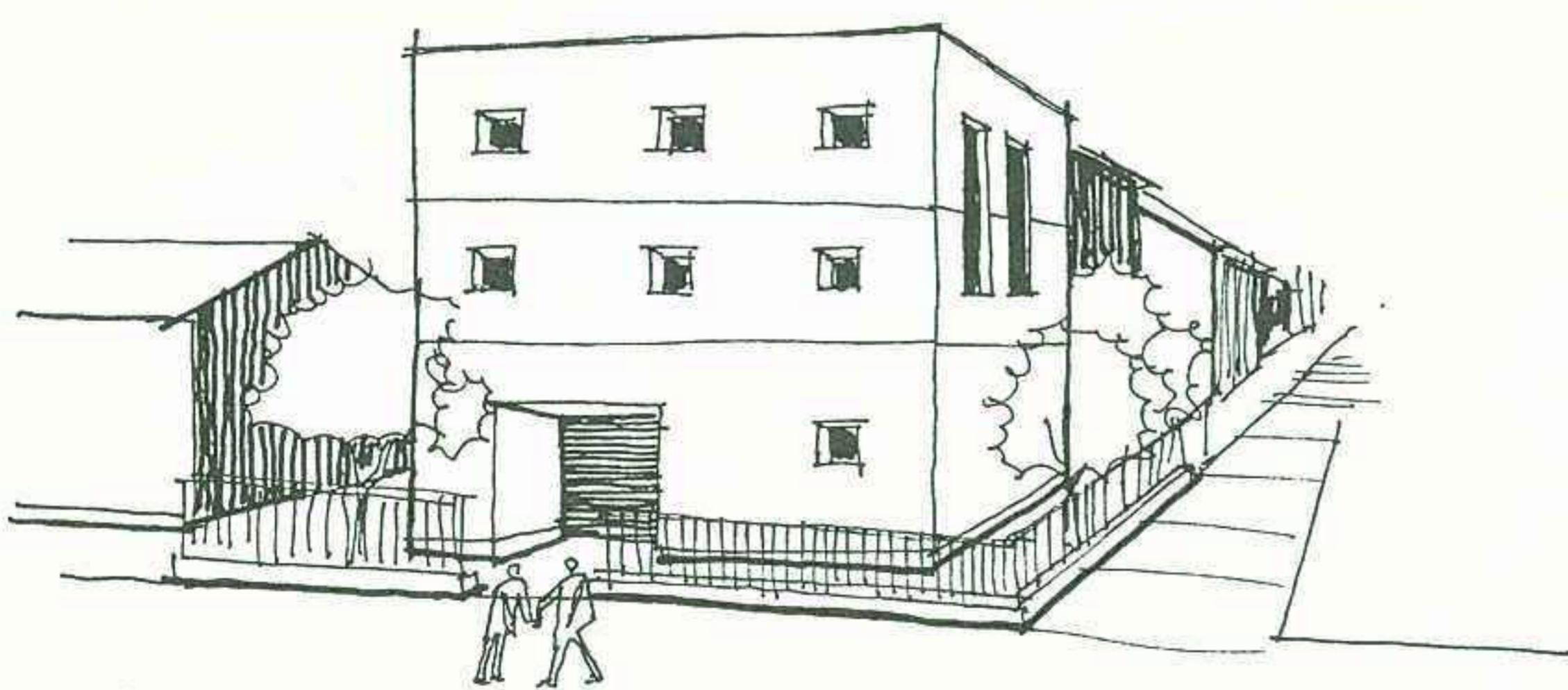
街路と家にはたいへん重要な関係がある。あけすけに街路と家がつながった場合、プライバシーは死んでしまう。また街路に全く背を向けた家は町との関係がとぎれてしまい、コミュニティの中で孤立してしまう。

あけすけな例



- 既成市街地等でよく見受けられる木賃アパートのドアの連続、あまりにも公共空間との距離が近い

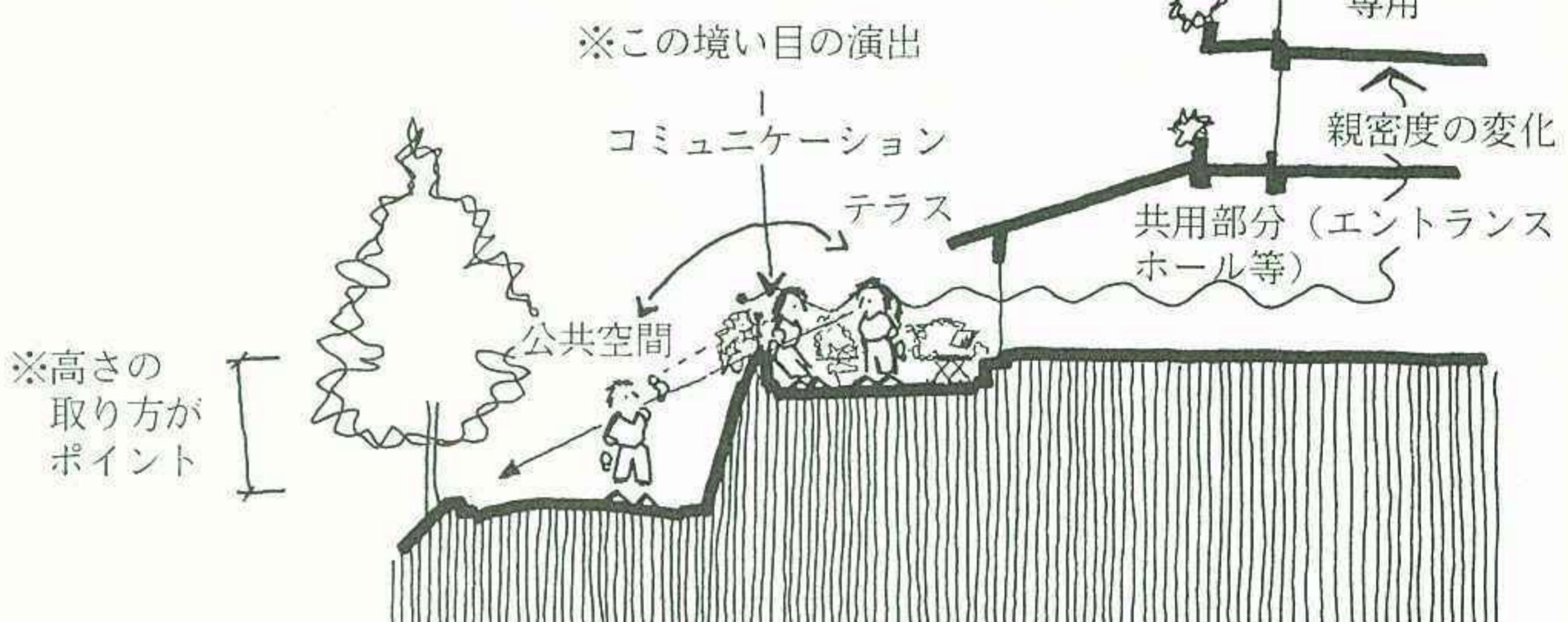
無関係の例



- 新興住宅街で見られるモダンデザインの建築、基本的に町とは無関係

共用室を街路に面する広いテラスやポーチに向けて解放すること。テラスは街路より少し高くし、低い壁で保護すること。そうすれば壁のそばに座り街路を見下ろせるし、路上の人間に共用室を覗かれることもない。

●公共空間と建築物がテラスを挟んでほどよい距離をおいている



●街路を見下ろす楽しそうなテラス

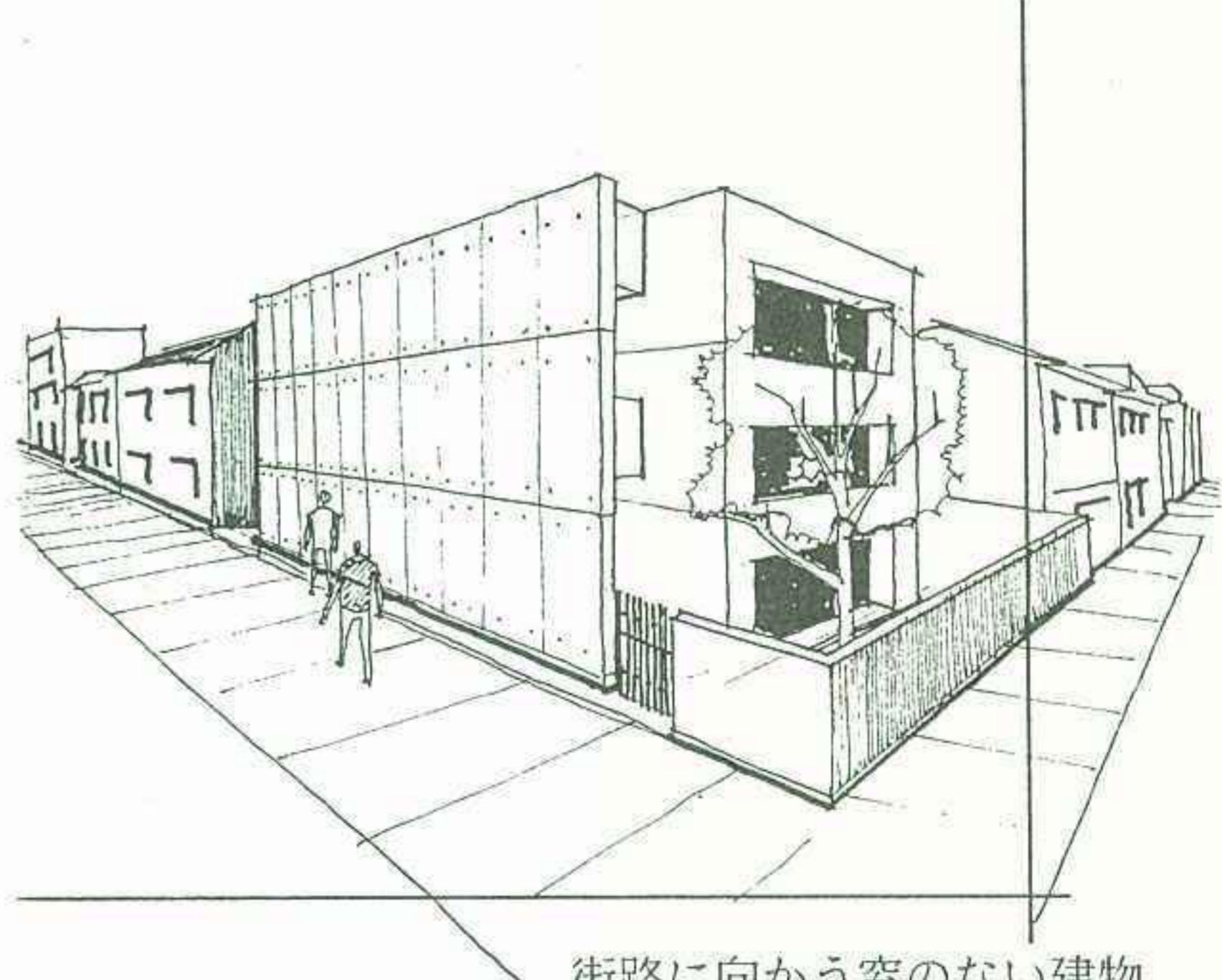


キーワード

前提条件

○街路に向かう窓

窓の見えない街路は不安を覚える。また同様、公道側に窓のない家は居心地が悪い。



街路に向かう窓のない建物

解 決 法

街路に面した建物の面には、人の気配を感じとれる街路に向かう窓を設けること。

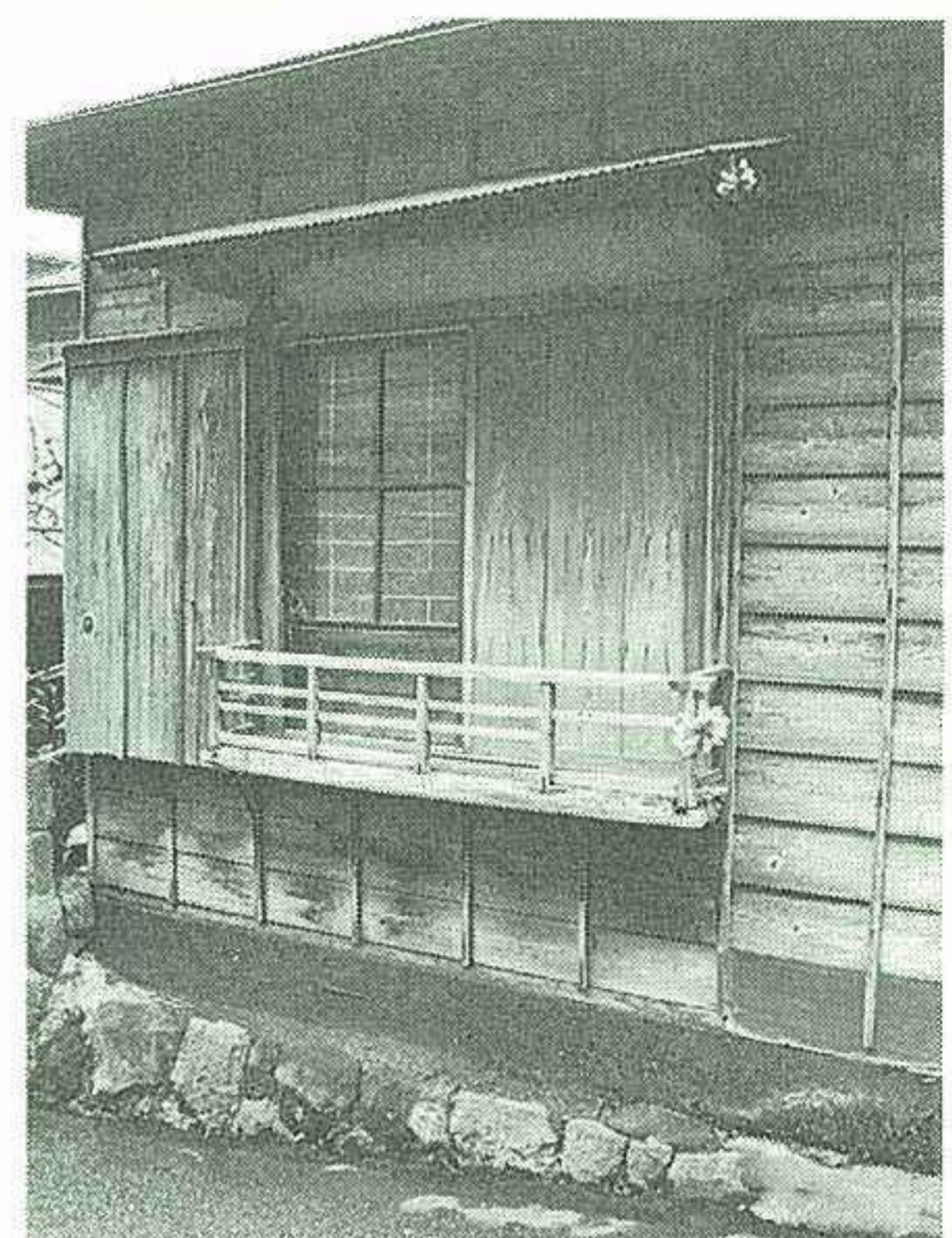
1階では窓を少し高くしてプライバシーを保てるようになると良い。

課 題

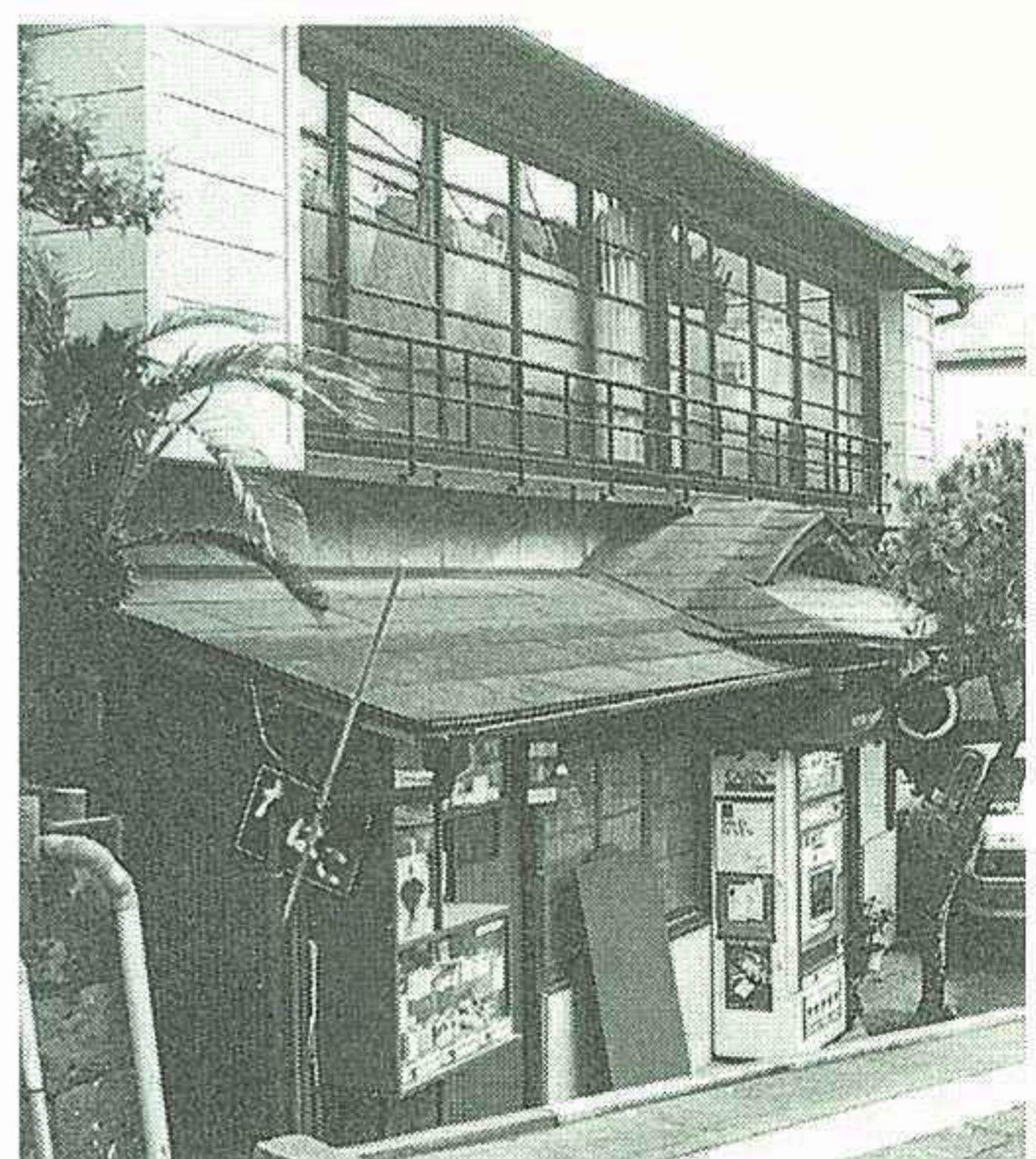
●真鶴町の街路に向かう窓



●のどかな街路に向かう窓



●人の気配が感じられる



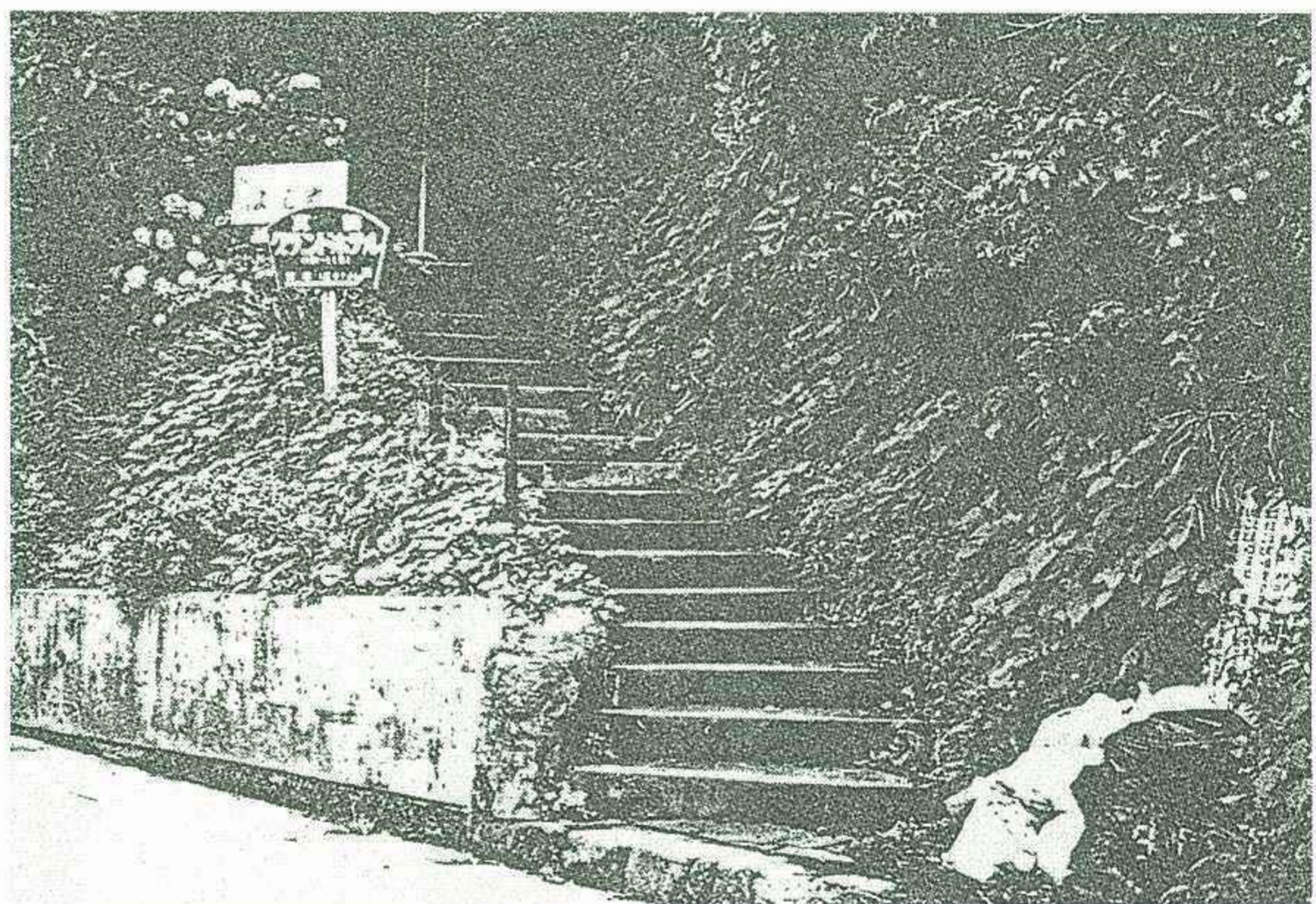
キーワード

○座れる階段

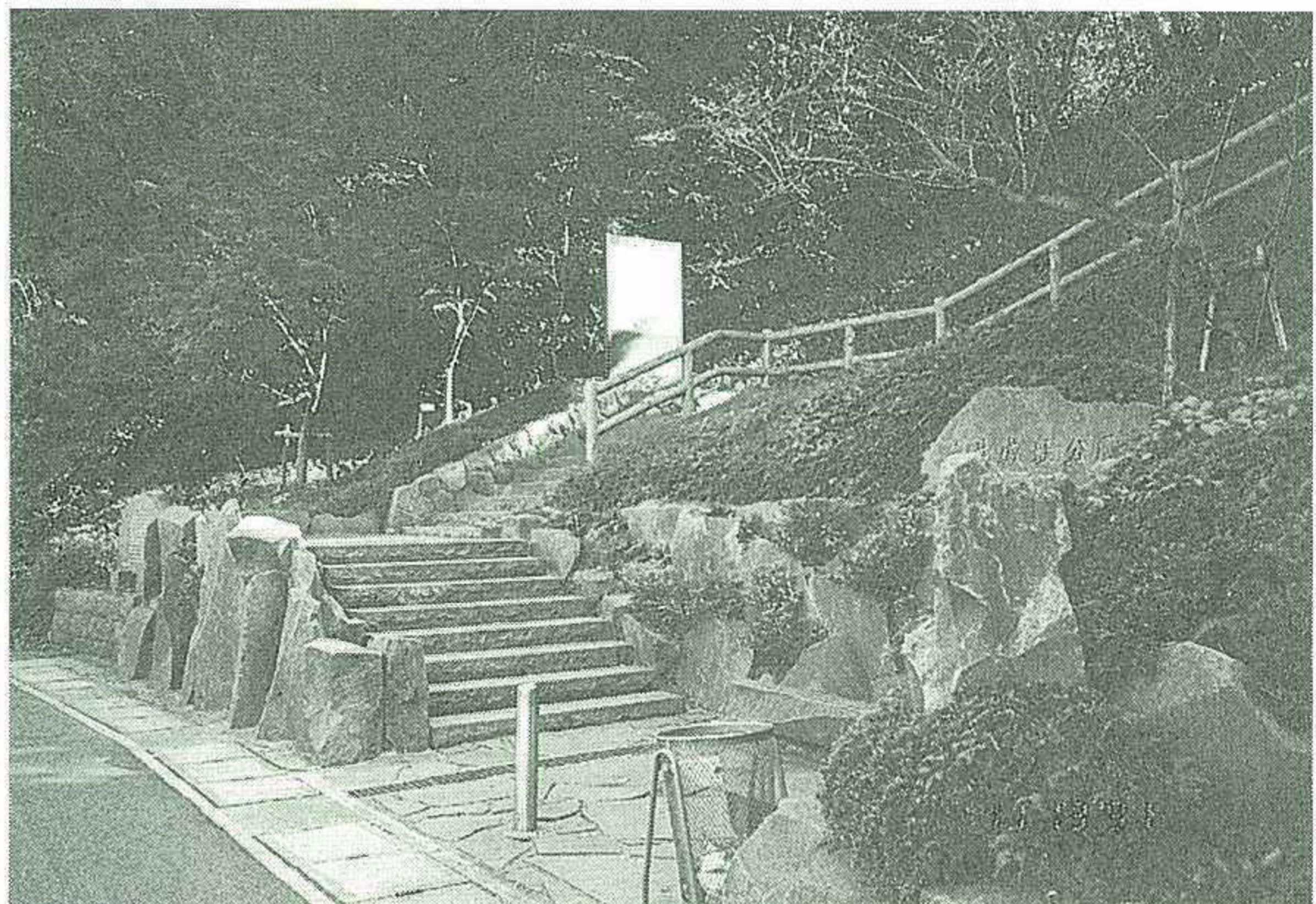
前提条件

傾斜地の多い真鶴町にはたくさんの階段がある。登り降りに難儀するこの階段は、実は車から絶対的に守られた数少ない自然の歩行路である。しかしながら階段はあまり立ち止まったり、休んだり座ったりする場所には使われていない。

●真鶴町の典型的階段



●階段はどれも曲がりくねっている

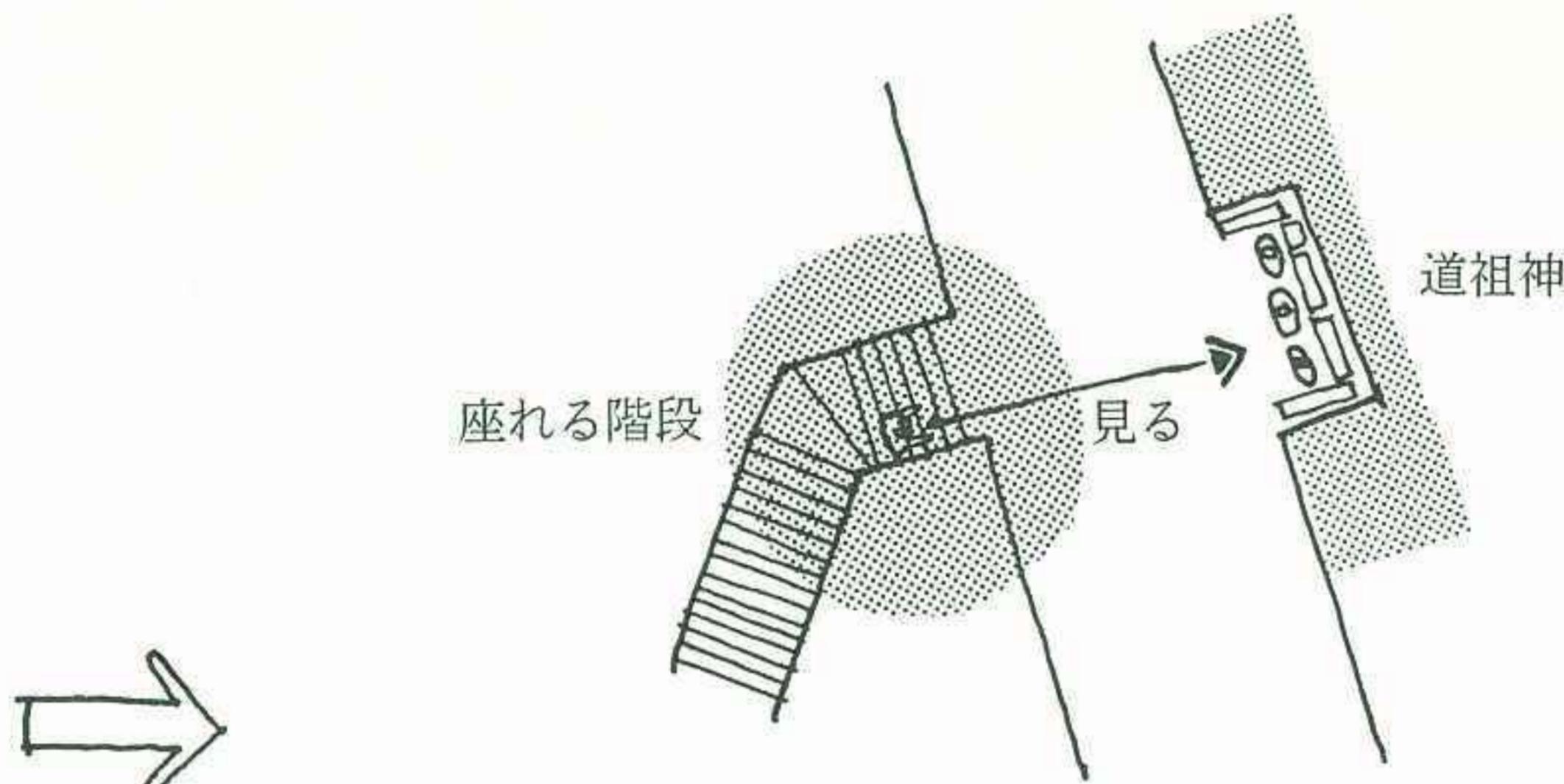


解 決 法

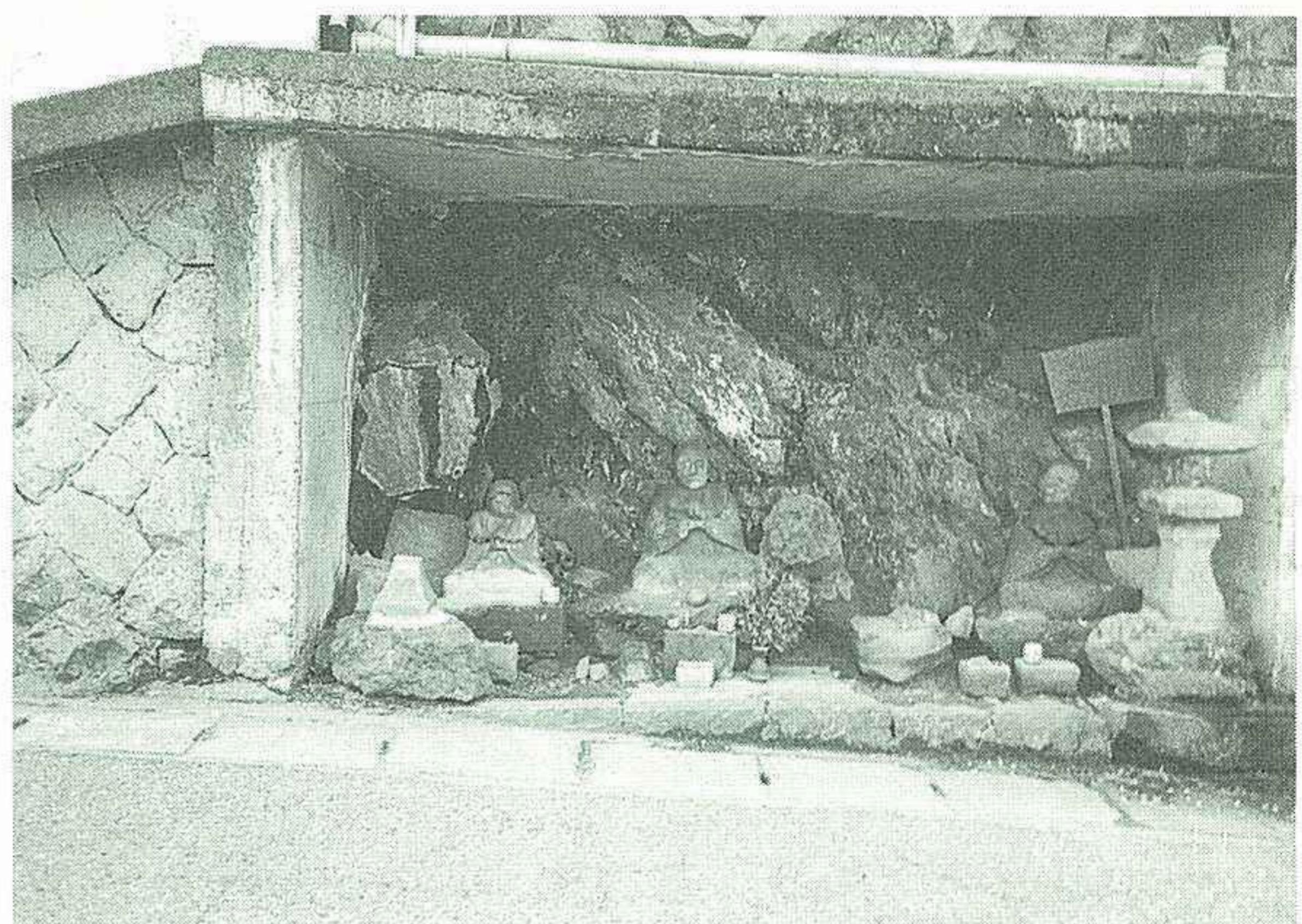
課 題

階段と道祖神両者とも真鶴町には数多く点在するものである。

これらを「見られるもの」「見る場所」と言う意味で関係づけ、位置、距離等を整理し、見る所、見られるものの深い関係をつくること。



●道祖神との組み合わせによる座れる階段



キーワード

○ふだんの緑

前提条件

人々は、生活の中に緑を必要としている。
通りを歩く、買い物に行く、通学する等の普通の日常生活の中にこそ緑は生きてくる。

●小さな、小さな緑



●自慢の花垣



●あふれる緑

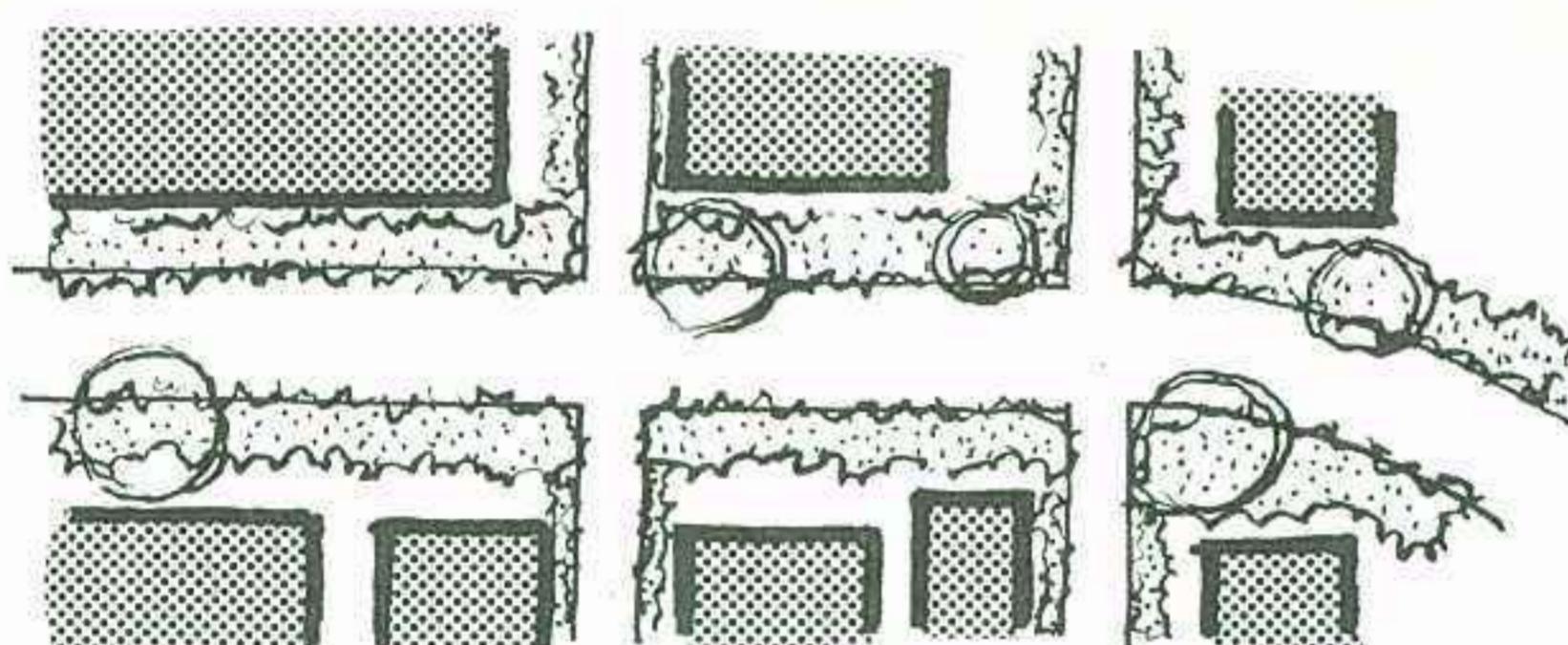


解 決 法

それぞれの建物、玄関、へい等に緑の木を植えること。
それぞれの緑がその持主の自慢のたねになるように考え
ること。
良い植栽の例は町のいたる所に見られる。

課 題

●接道部分はすべてあらゆる方法で緑化する



●路地の生け垣



キーワード

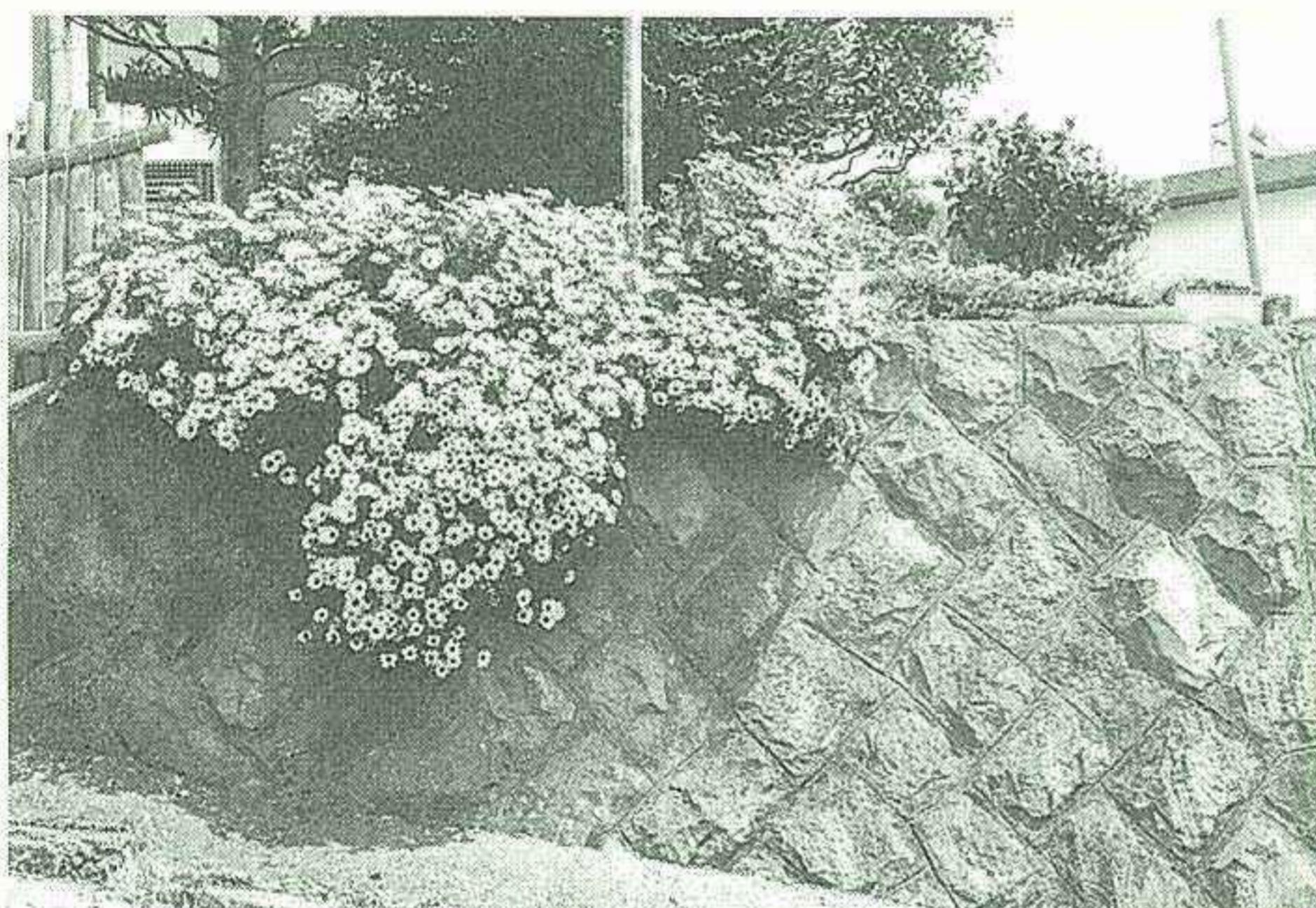
前提条件

○さわれる花

道端や建物の足元、戸外室の隅などに沿って生えている花は美しい — だがこのような場所こそ人や車の往来から花を守る必要がある。何らかの保護をしなければ、花はなかなか生き残れない。

真鶴町の美しさの一つにこのようなごく小さな花、民家と公共用地の縁に咲く花があることはまちがいない。

●石垣の輻射熱で美しく咲く花



●道路の境界を飾る花



●歩行路と花壇の縁を柔らかく飾る花



解 決 法

建物や歩行路や野外空間の縁沿いに花を植えて、雰囲気を和らげること。花に触れたり、香りをかいだり、そばに座れるような工夫をすること。

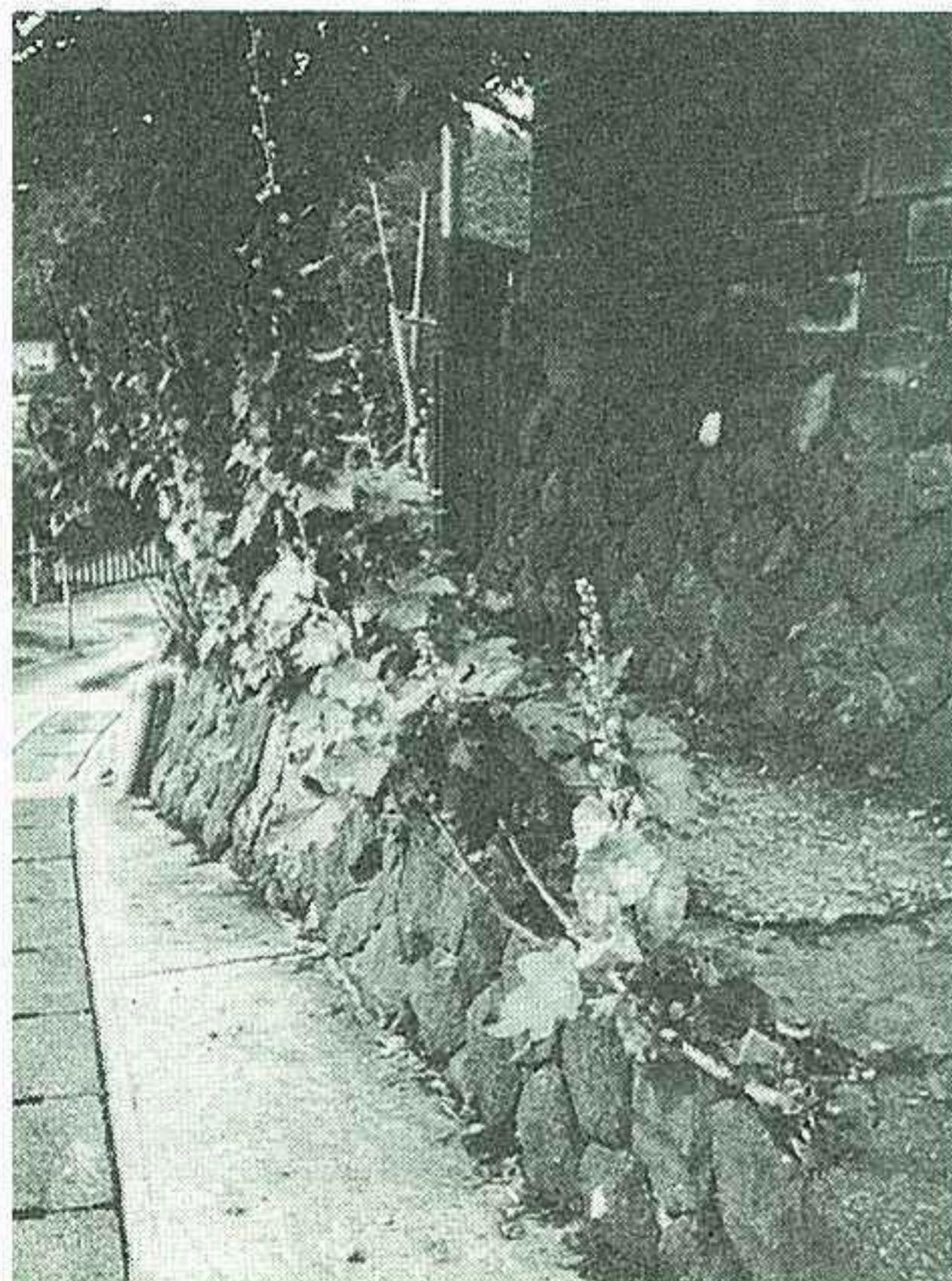
人や車の近づく花壇の縁はがっしりとし、そうでない所はゆるやかに地面につながるようにすること。

課 題

- ・はまゆうの保護など



●石垣を飾る道端の花



●玄関のアプローチと道路境界のポイントを飾る花

